

宮下キツネ

Kitsune Miyashita

並 日 通 友 達 の

Ordinary friends



宮下キツネ

Kitsune Miyashita

猫です



Cover Design : 齋藤 渉 (chipco design)



友
達

普
通

Ordinary
friends







普通の友達

第1話

007

第2話

039

第3話

071

第4話

103

第5話

135

contents

Ordinary friends

Kitsune Miyashita presents

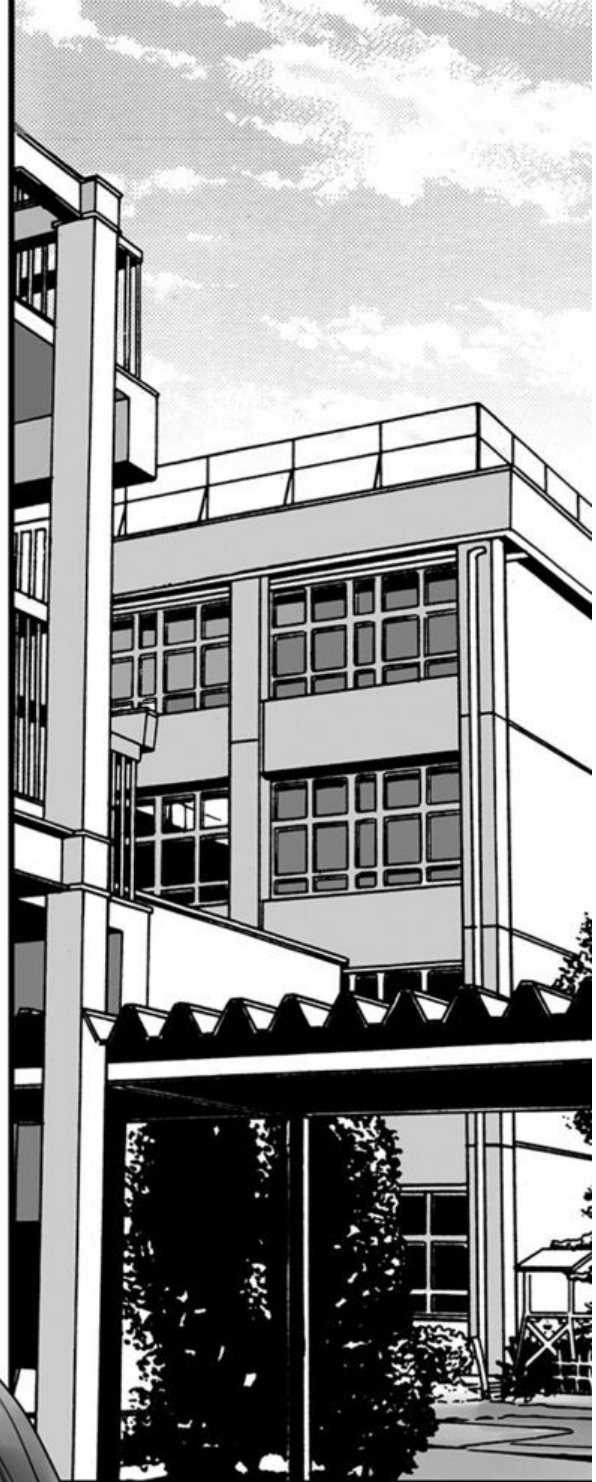


Ordinary
friends

普通の 友達

第 1 話







あーあ
つまらないなあ

いや別に面白くなくて
いいんだけどね
高校時代なんて長い人生の
うちわずかな期間だし

いったら誤差みたいなの
もんだな三年なんて



高校卒業しとかないと
人生の選択肢狭まるから
通ってるだけだし

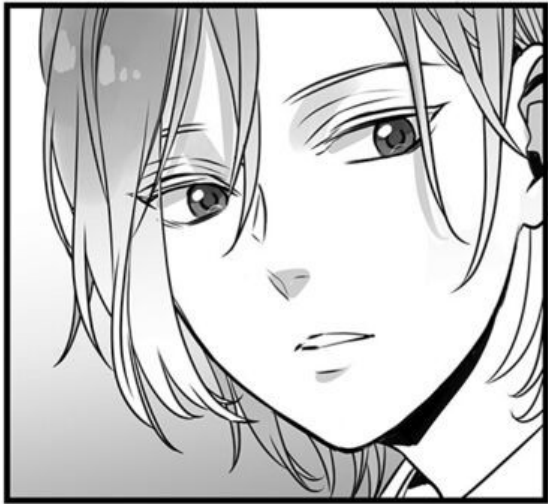
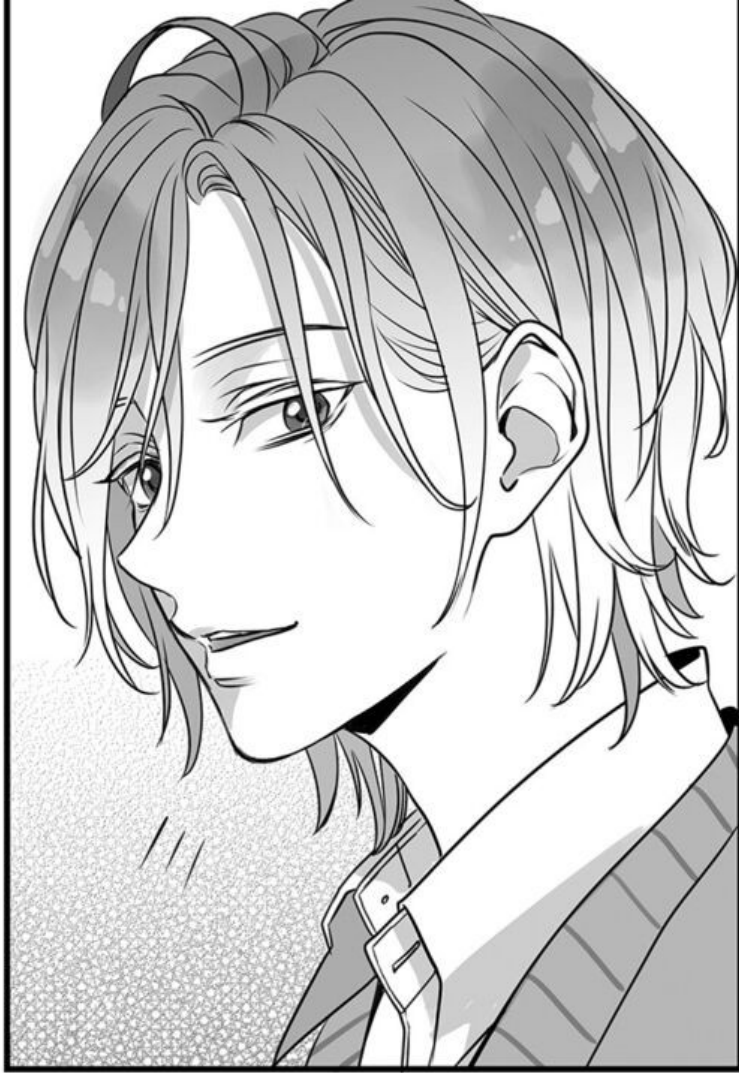


なのに今こそ最盛期って
くらいにはしゃいでも
奴らはなんなんだろうか



いいよなほんと
単純なやつらは





そりゃあんなふう
だったら毎日楽しい
かもだけど…

あまのとういち
雨野董市くん…

誰とでも仲良くなれて
明るくて皆に好かれて
綺麗な顔で…

そこにいっただけで
目を奪われちゃうん
だよな…華がある
っていうのかな

列になれー

俺なんかにも
普通に接して
くれるし

あんなやつと仲良
なれたらきっと

楽しいだろうな

でも俺とは
住む世界が違うし…

あっごめん

おいっちゃんと
ボールくらい取れよ

偶然同じクラスに
在籍できただけでも
幸運に思えよ

彼と比べたら俺は
そこら辺の石ころ
みたいな存在なんだ



まあ俺みたいな
陰キヤが彼のような
輝かしい人物に
近づくんなんて
できるはずがない

図々しいんだよな
その発想がすでに
世の理に反するだろ
きわめて不適切だ！
わきまえろ俺！



ピタ

しんどい…

はあ

なんかこう…
うまくいかないなあ
すぐに立場が逆転
するような

たとえば突然俺の中に
眠る不思議な力が
目覚める！とかさ

都合のいい小説みたいに

なんでも思ったとおりになる！
そんな力があれば！

にゃあ

あつ猫だ

たとえば
こんな感じで

おくい
にゃんこや

今スグぴよんツテ
飛び跳ネテミロ



どうってこと
ないけどー

なんてなー
まあ猫が飛び跳ねた
ところで別に…

……



えつまさか
今跳ねた？

おいっ猫お

いやいや偶然だろ
ってか見間違いか

まあでも
思うくらいならね
えっとじゃああそこの…
今コッチニ歩イテクル
女ノ人が転ブ

とかどうかな
危ないかな



ダメダメ
そんな夢みたいない
ことあるわけ
ないって

それに
たまたまって
可能性があるし
うん…





そうだ！

今日ノ夕飯ハ
特上寿司！とか！
これでどう
だろう！

ウニ食いたいし！
平和といえバ
寿司だ！



お帰り進すすく
今日は寿司だよ！

父さん急に寿司が
食べたくなつてなあ
母さんが頼んでくれた

ふふくん
たまにはねえ

わくい寿司く！
兄ちゃん早く着替えて
きなよく！



うそ…だろ？
ケチな両親が何の日
でもない平日に
寿司を頼むなんて
あり得ない！

いやでも待て
これくらいだったら
たまたま偶然起こりえるだろ
これだけで思いどおりになる
力が…なんて確証できる
はずもないよ

慎重に慎重に…

慎重に確かめていこう！

生物ノレポート
ノ採点ガ良イ
結果デアリマス
ヨウニー！

よく書けてたな

A+

期末テストノ点数ガ
九十点以上取レテルヨウニ

きゃー..
きゃういゃうはちー

少シダケもてタイ

あの人
かっしやない

えん

アレヤ
コレヤ

ゴールヲ決メテミタイ

あ

おー

いろいろ
考えて...

俺だけ
指されないで
飛ばされた

はああ

メンチカツパン買えた

KUBA



間違いない！本物だ！これは現実だ！



この力があれば
なんだってできる！
俺の人生希望しかない
じゃないか！

いやそれどころか
森羅万象全てを
手中に収めたと言っても
過言ではないぞ！

世界の全てが
俺のモノにー！

うおおおお

……って
ダメだよ

危険すぎるだろ
こんな絶大な力
慎重に使わないと

これからは発言と
強い想いを抱く時は
注意しなければ

絶対だ！ 悪用はしない！

悪いことは
考えない…

絶対だ！
誓いを立てよう

ああ……でも
でも……

ひとつだけ……

どうしても……

これだけ……



俺の一番の望みを……

おはよう

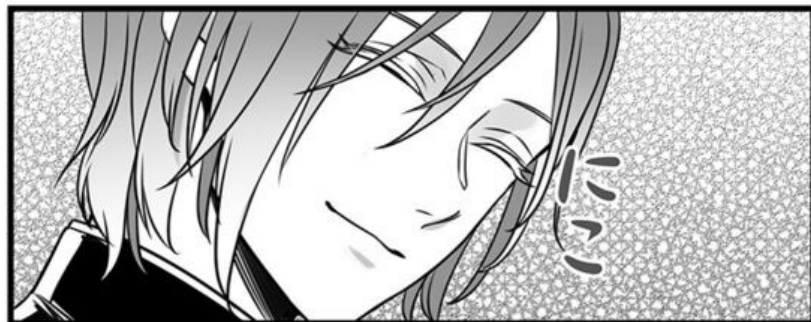
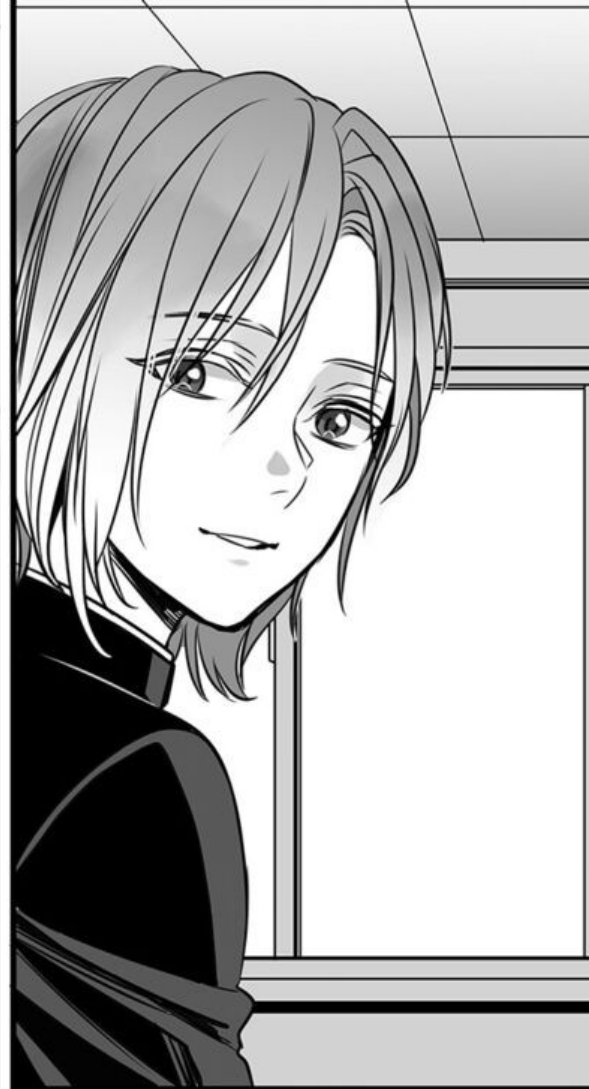


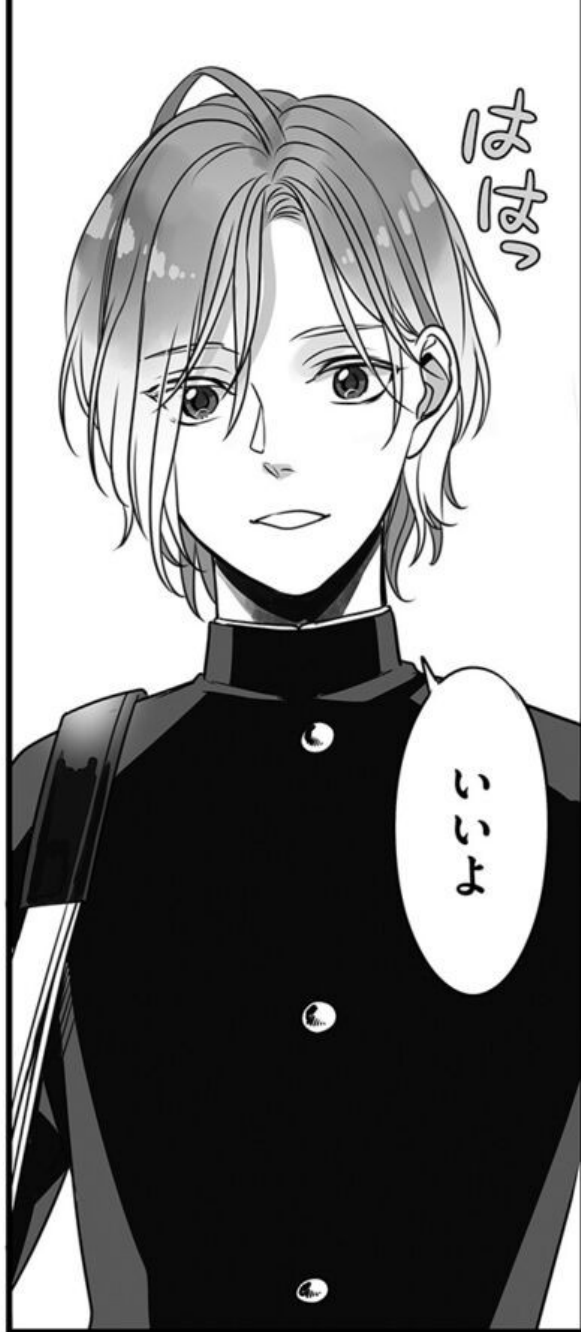
アイサツ……



あ……

あ……







キンコンカン

びっくりしたよ
急に友達になって
欲しいなんて
言うんだもん



はよー

雨野ちゃんと俺なんか
ともだちー？

雨野



緒に昼飯!?

そうだよね…



ずっと仲良くして
欲しいって
思ってたんだ

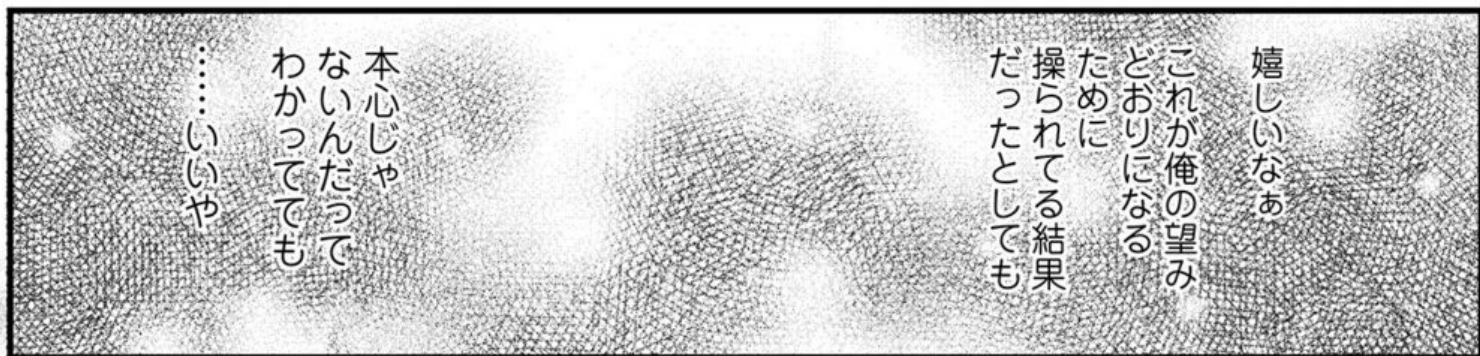
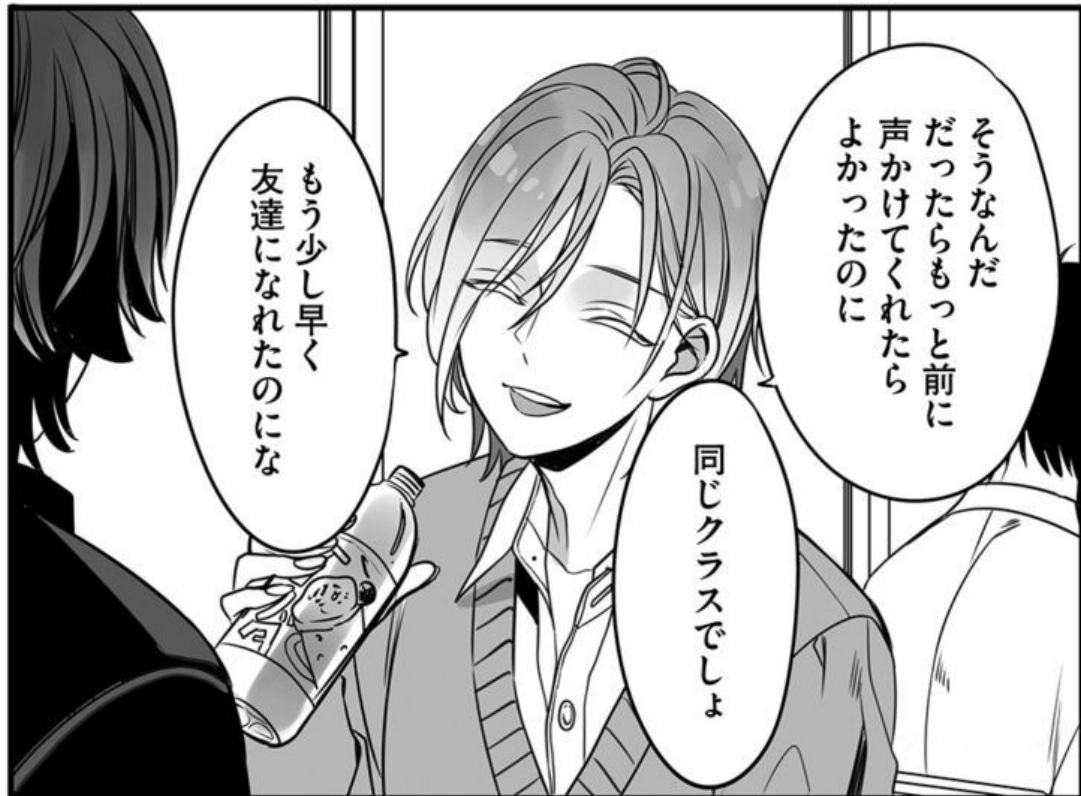


そっか
そんな感じ
なのか



あの…
どんな感じが
した？そう
言われて

んー
友達になろう
って思ったけど



凄いなあ

俺の高校生活
変わっていくのかな





さすが古瀬

志望大絶対
受かるね

いくな



あーしんどい
勉強

古瀬は模試の結果
良かったん
でしょ

あうん



ん...



〇〇年御稻荷高等学校卒業式

何もかも
上手くいきすぎ



へえ

結構広いんだね

もう住み始めて
るの？

いやまだ



昨日は
夜遅くまで
荷ほどきしてた
から泊まったけど



いいねえ
一人暮らし
わくわくするね
楽しい？



うん



あーそれで
あそこに布団が
丸まってるのか

しまう場所が
なくて…

今日は来てくれて
ありがとう

友達だからね
何も手伝ってないけど
ははは

大学かあ

別々になっちゃうね

ズキ

俺が望んだから
じゃなくて…
友達として
自分の意志で来て
くれたのかな…
だいたいな

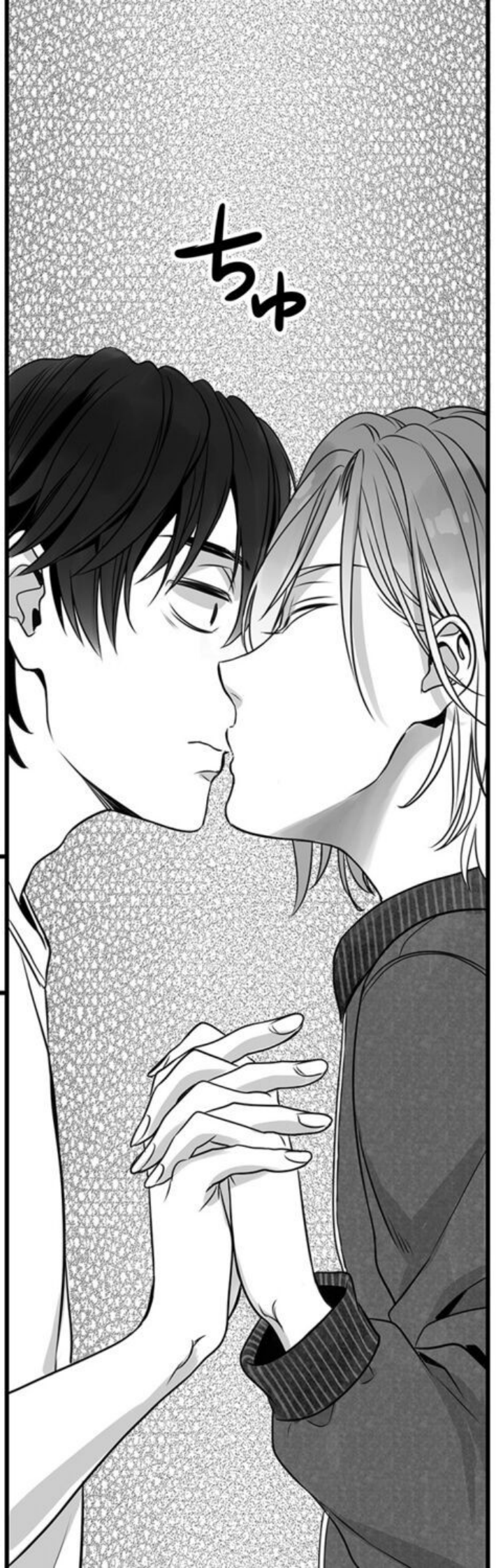
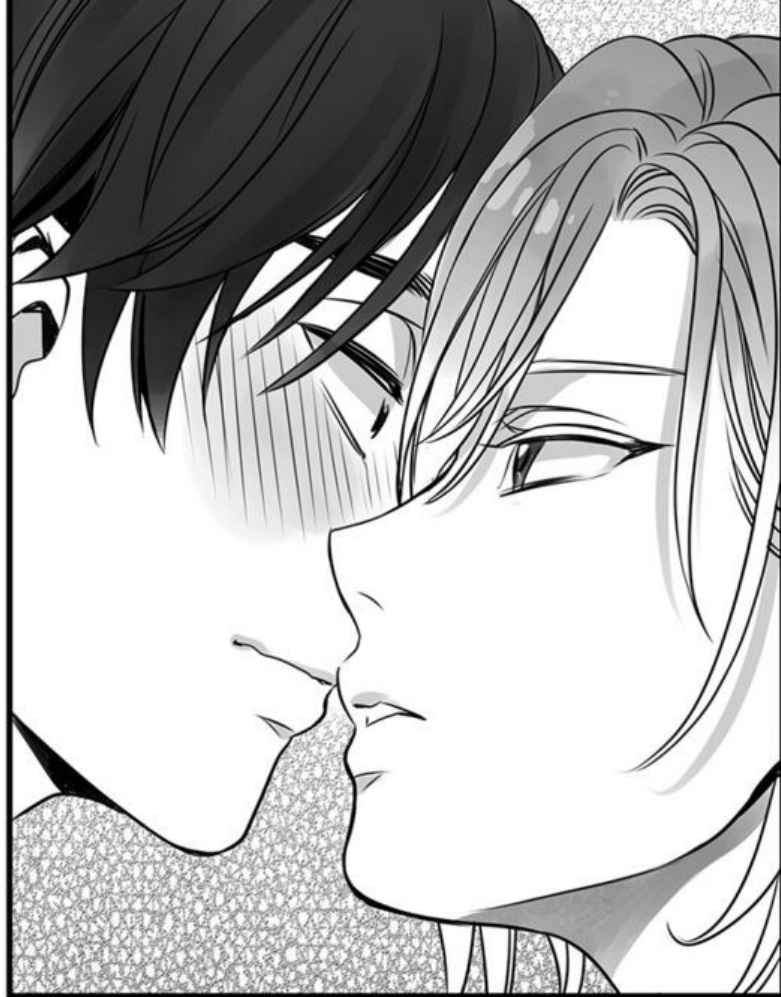
寂しいよね

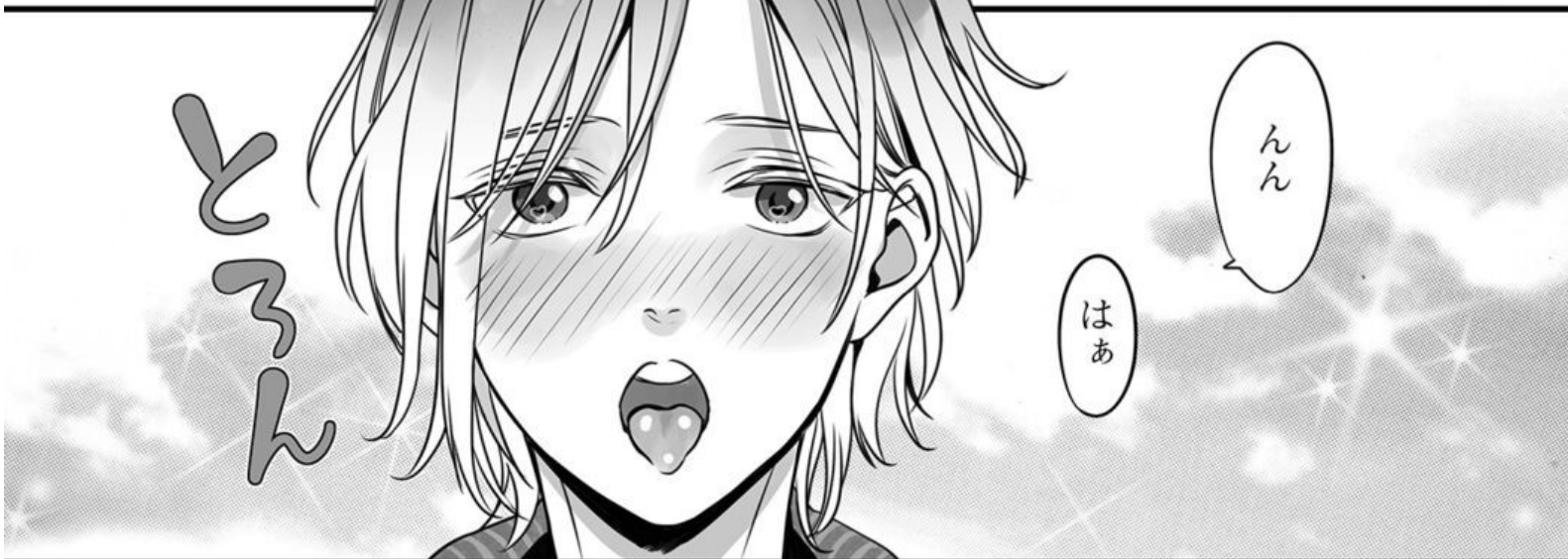
うん

あ！

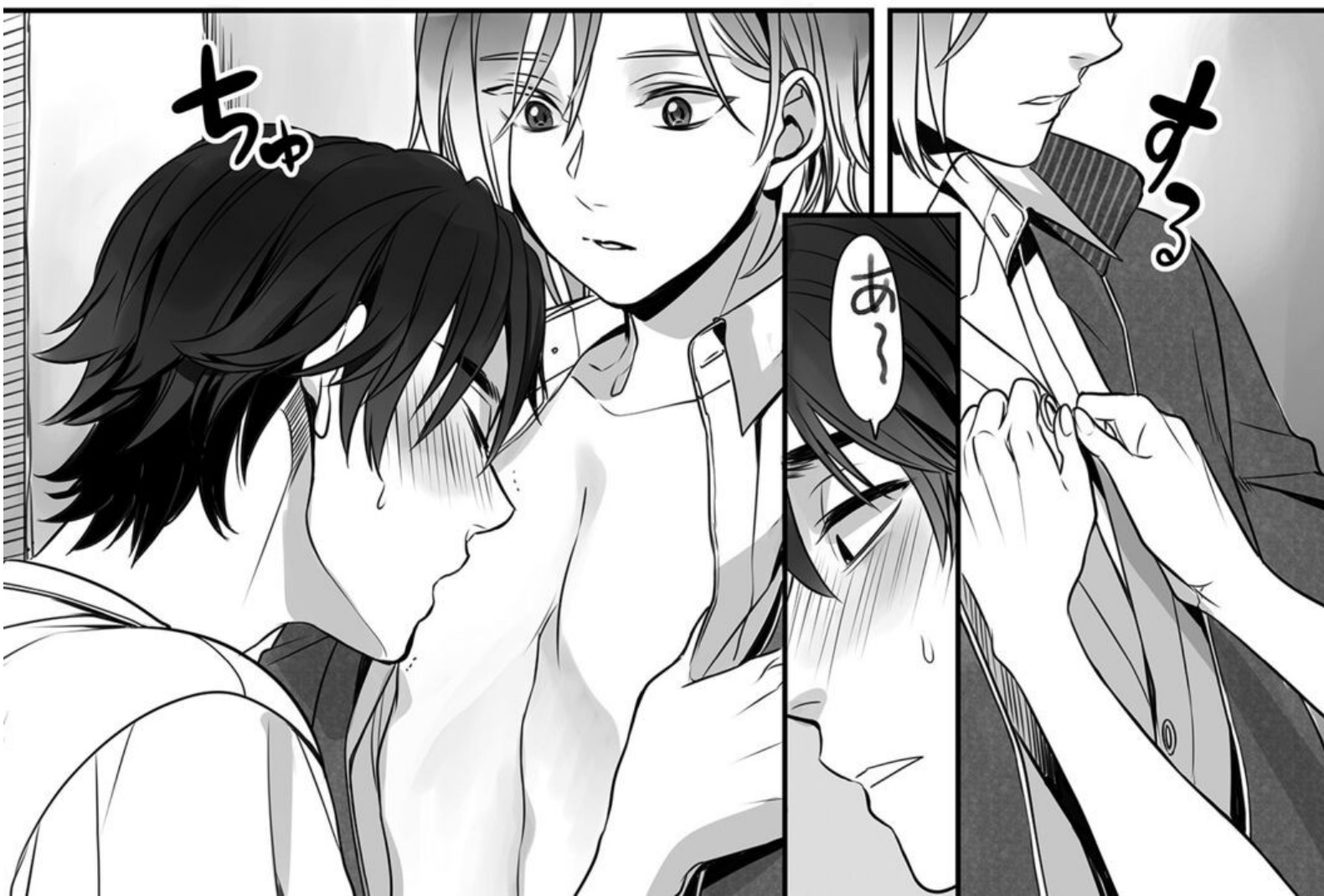
ここ桜見えるの？
すごいっ！
いい物件見つけたね！

















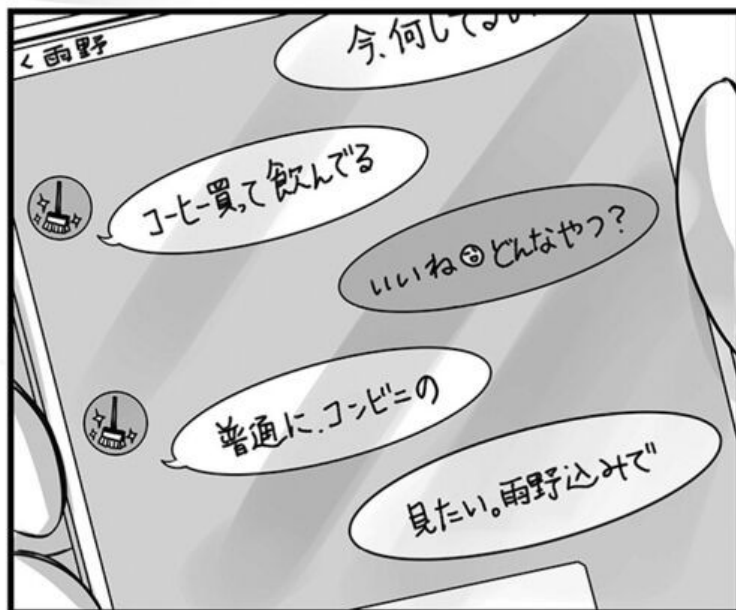




Ordinary
friends

第 2 話

普通の 友達





俺は本気で^{あまの}雨野の「ト」を――

やっ

お疲れ〜

雨野もお疲れ

それにまだ――

まゆ

体の関係とかそこまでする
行けてない……

――もちろん
したくないわけじゃないけど！

にゅ

ドキ

ドキ

ドキ

学校
どうだった？

うんまあまあ

周り頭いいやつ
多くて大変だけど

古瀬だって
頭いいじゃん

そ…かなあ

大学に進学して
学校は別々になっても
雨野はまだ俺に
捕らえられている

自信ないの
よくないぞー

俺がまだ雨野と
一緒にいたいって
望んでるから
離れられないんだ

雨野は学校
どうだった？

古瀬の所はランクが
違うからなく
なんとなくやってる感じ
それより今は学校よりも
バイトの方が楽しいかな

大丈夫…バイト
危険はない…よね？

んーまあ今のところはね
でも学ぶところが多くて
そこは大変かな

すべて俺の
思いどおりだ



俺の言うことを断る
わけないもんな

んー古瀬が会いたって
言ってくれたからさ



忙しかったんじゃない？
呼び出してごめん



俺だって
会いたかったし

あ…

雨野が自ら会いたって
思ってくれたら
嬉しいのに…



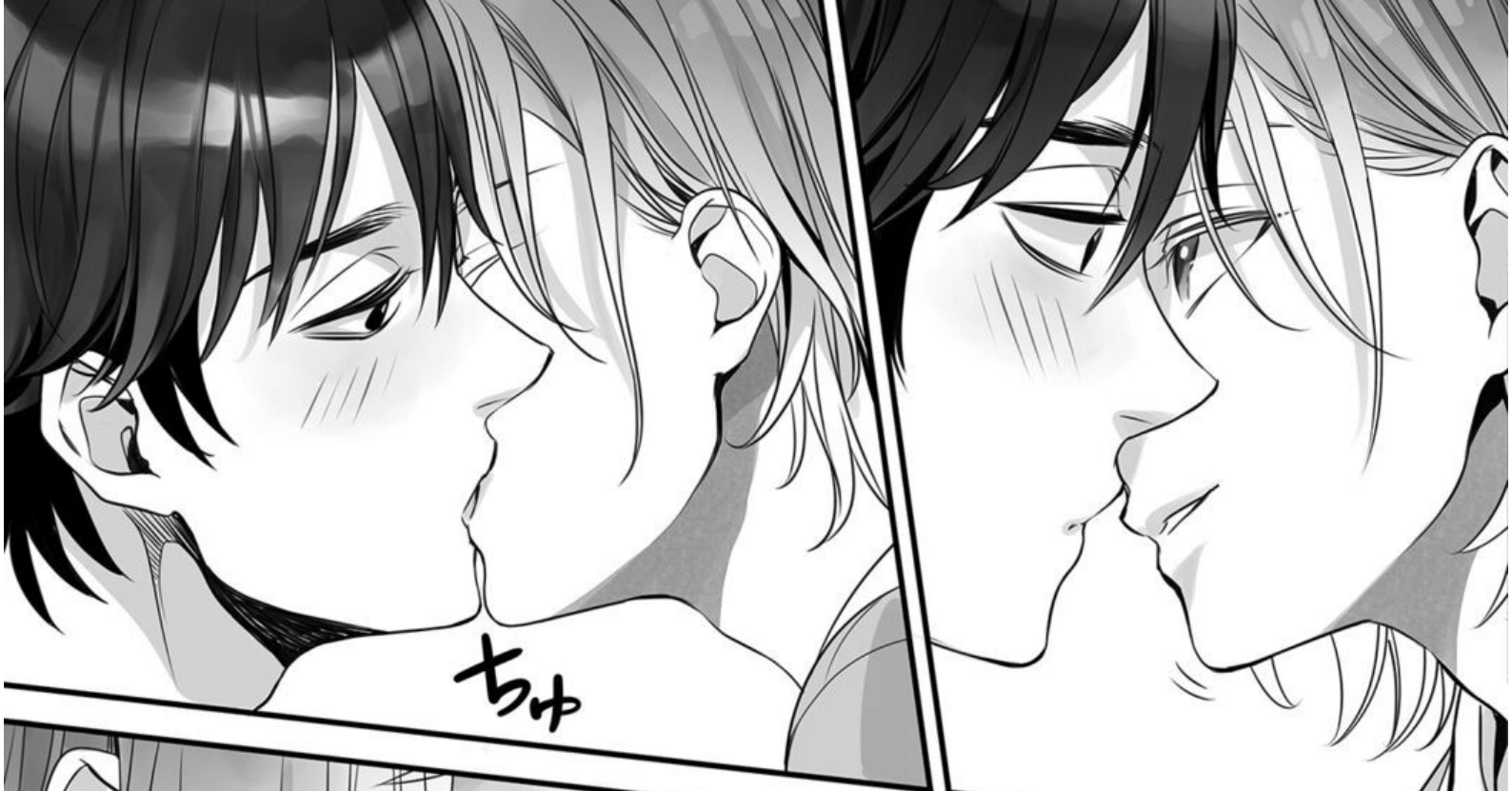
ごめん

なんで謝るの？



えっあ…
うん！

そうだせつかく
会ったし誰もいないし
チュウでもする？





雨野の人生を
いじくってるって
罪悪感はあるけど

ここまでしてるし
させてるし
はじめ…なんて
おこがましいけど

このままなんとなく
なんてよくないんじや
ないかって思うし

そっそれに…!

やっぱり雨野と

もっと…
本気で—

だから
言わなくちゃ!



ドキ ドキ

あ…
あのさ

ドキ

ん?

ドキ

ドキ

俺と…

ドキ

ドキ

ドキ

俺とつきあってください!

雨野と恋人同士になりたい!



あせ
あせ

あついや
だからっその

恋人っていうかさ
カップル?
って感じの
あの...そういう...



キョトン



ぷ



ははははは

えっあっ
あの...

古瀬はホント
変なヤツだなく



え...あ

そ...だよな
そっか

俺のつきあいたいって
気持ちが叶ってたって
ことだよなー



あつごめ

何を今さら
言ってるの

俺はもうずっと前から
そのつもりだったけど

ふー



エッチなコトヲシタイ!

いろいろって言うと

触る…
だけじゃなくて



いいよつきあおう!
それで?
つきあうって明言したら
何か変わるの?

あつえつと
それは…いろいろ



ん?
いろいろって?



もう俺たち大人だし
その…先に…
進めたらというか…

んー大人かなあ

でもまあ
いいとは思うよハハ

ごめん!

だからなんで
そこで謝るの?
意味がわからんぞ

俺も男だし
気持ちちはわかるよ

つきあうって
そういうことだし
いいんじゃない？

それに…

俺もキョーミあるし

かかわい！

あつ分かってると思うけど
今じゃないよ？
そういうタイミングが
あったらねってこと

もちろん！

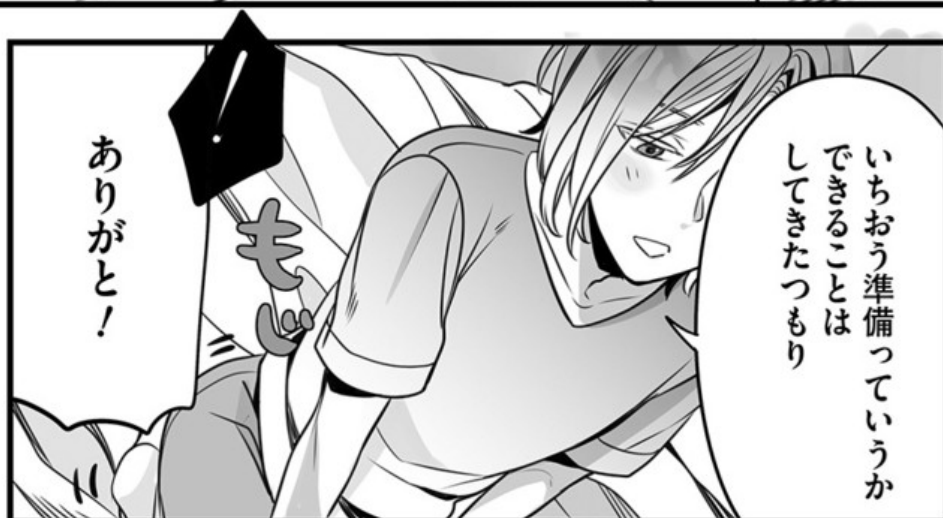
そんなタイミングなんて
そんなの…すぐに—

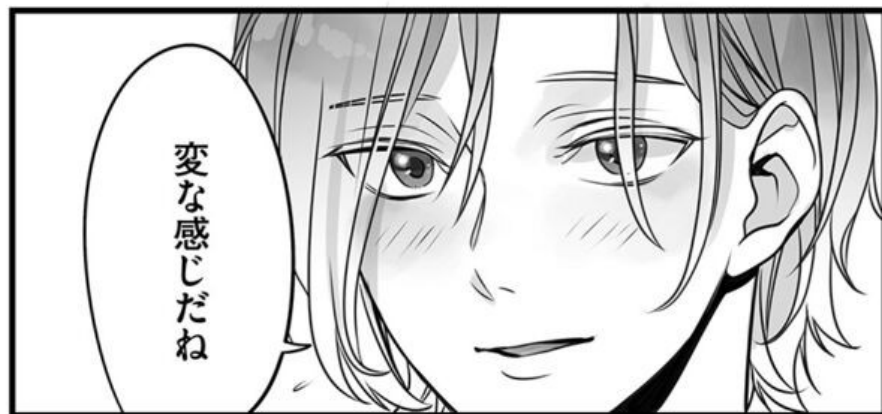
作っちゃる！

ぶん

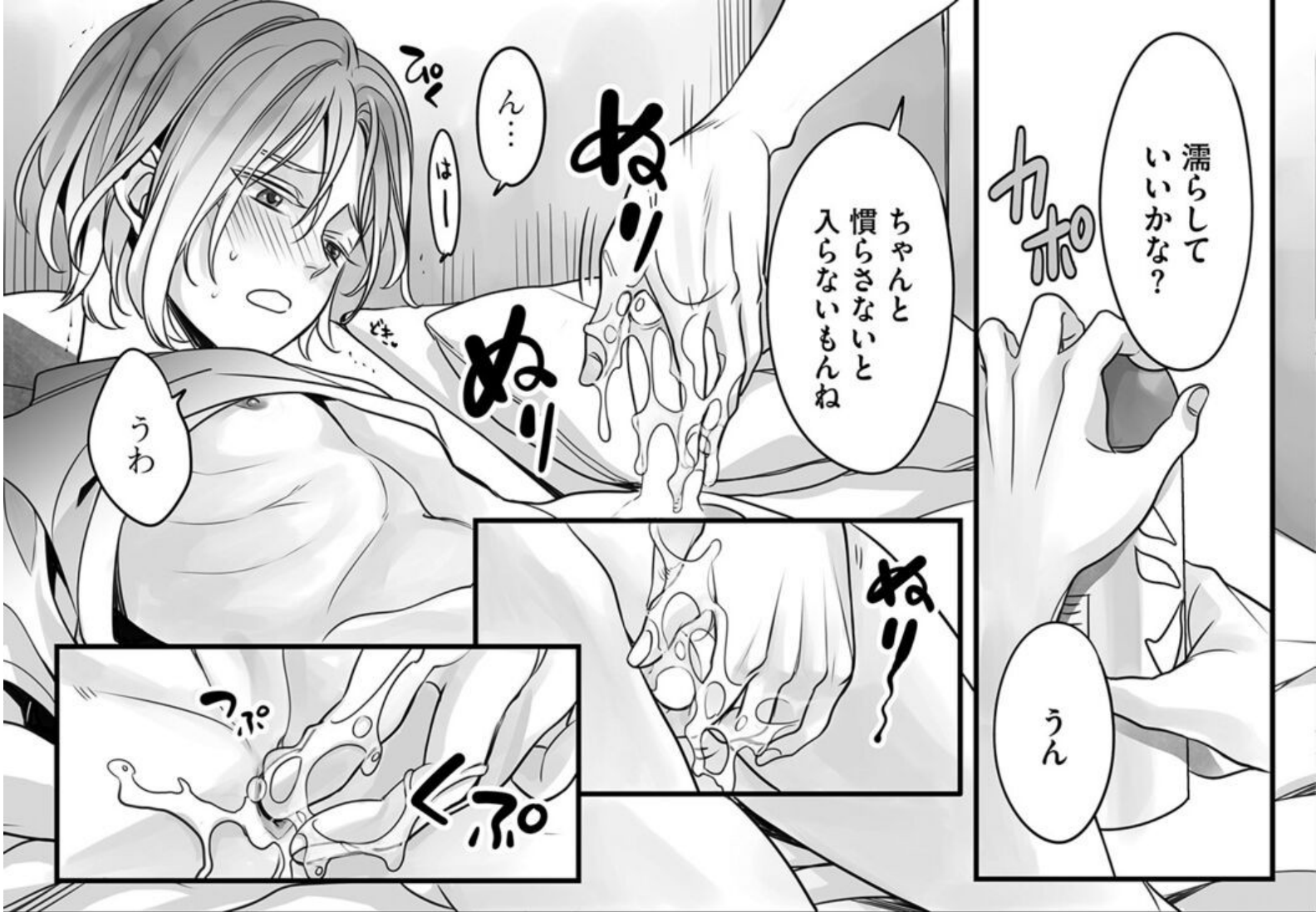
てれ

！！

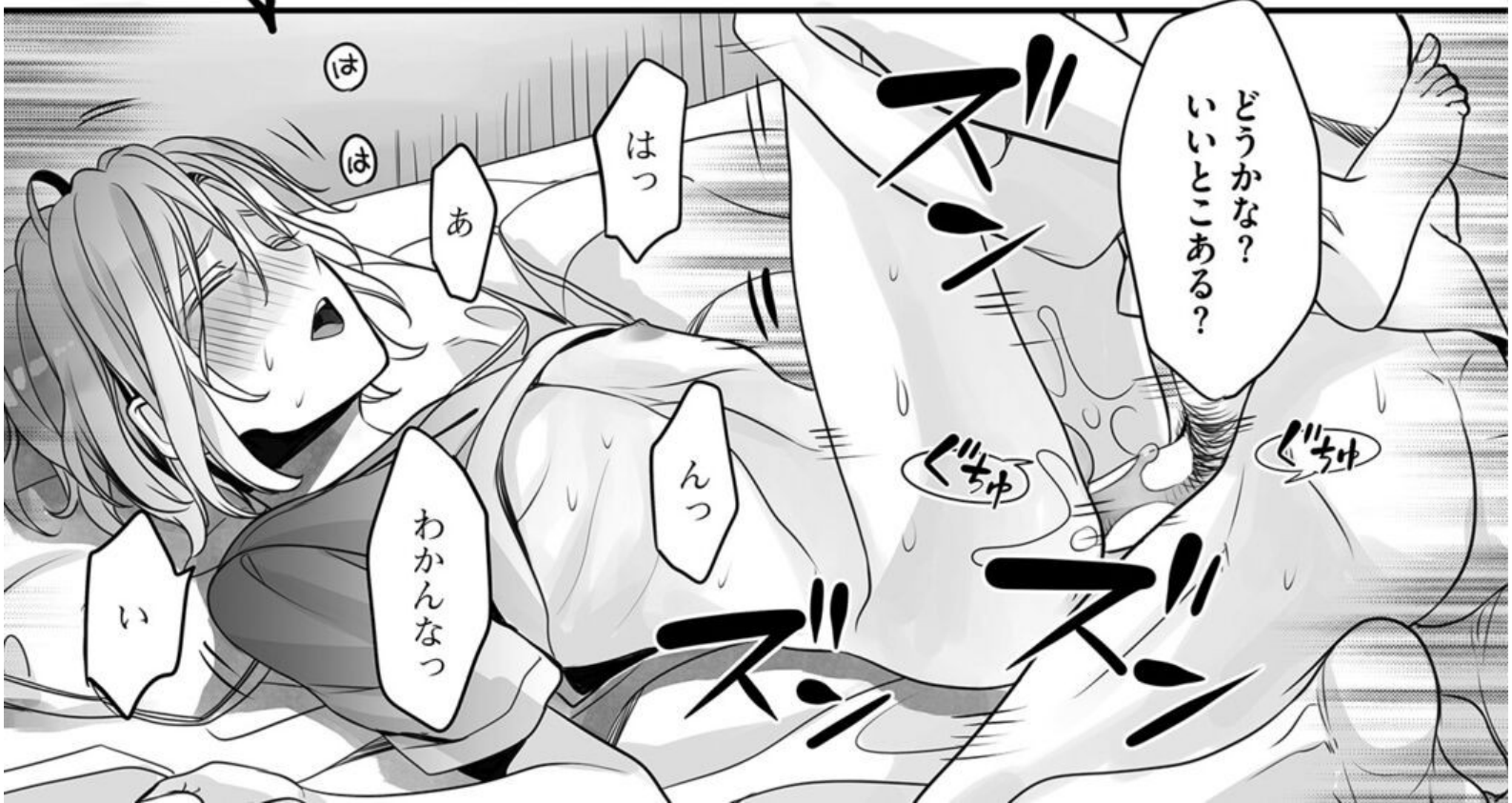


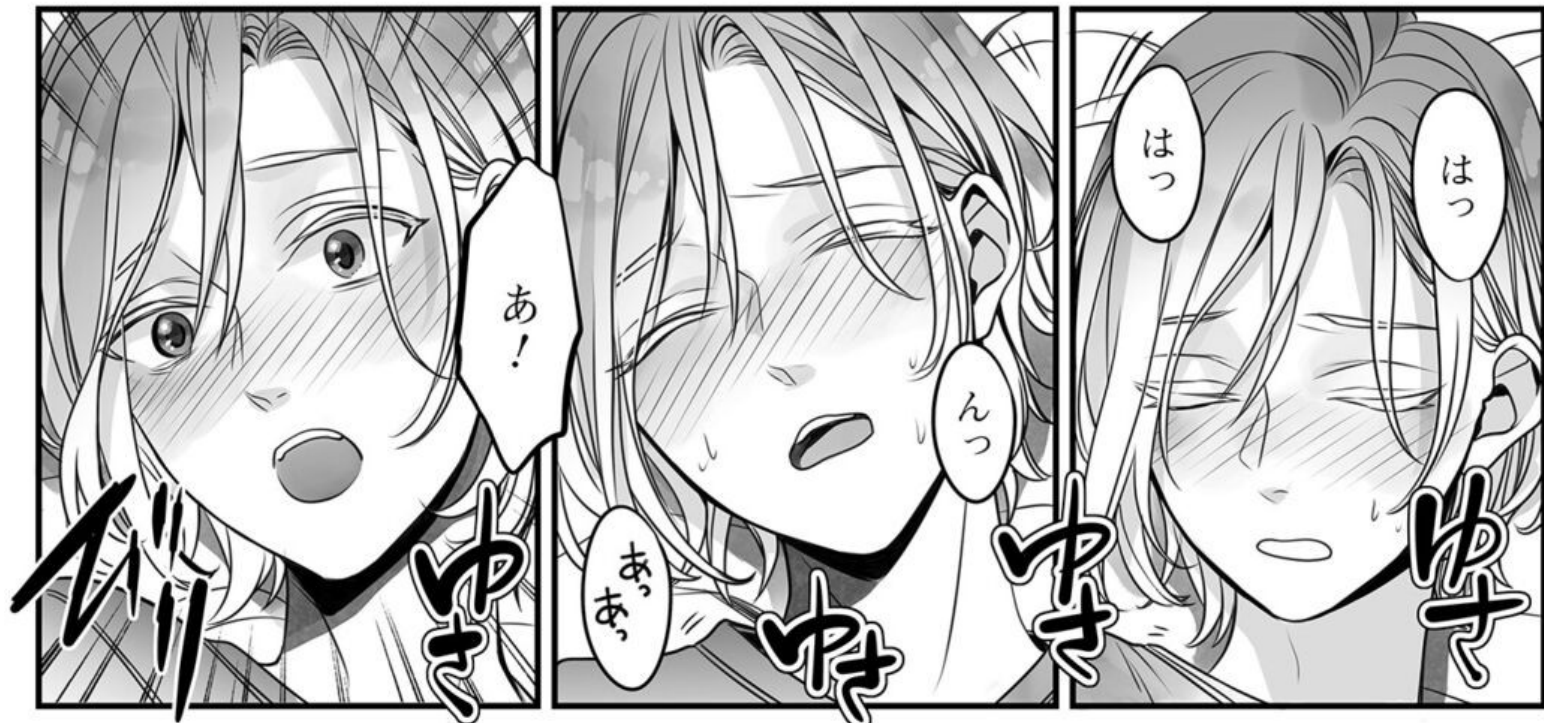






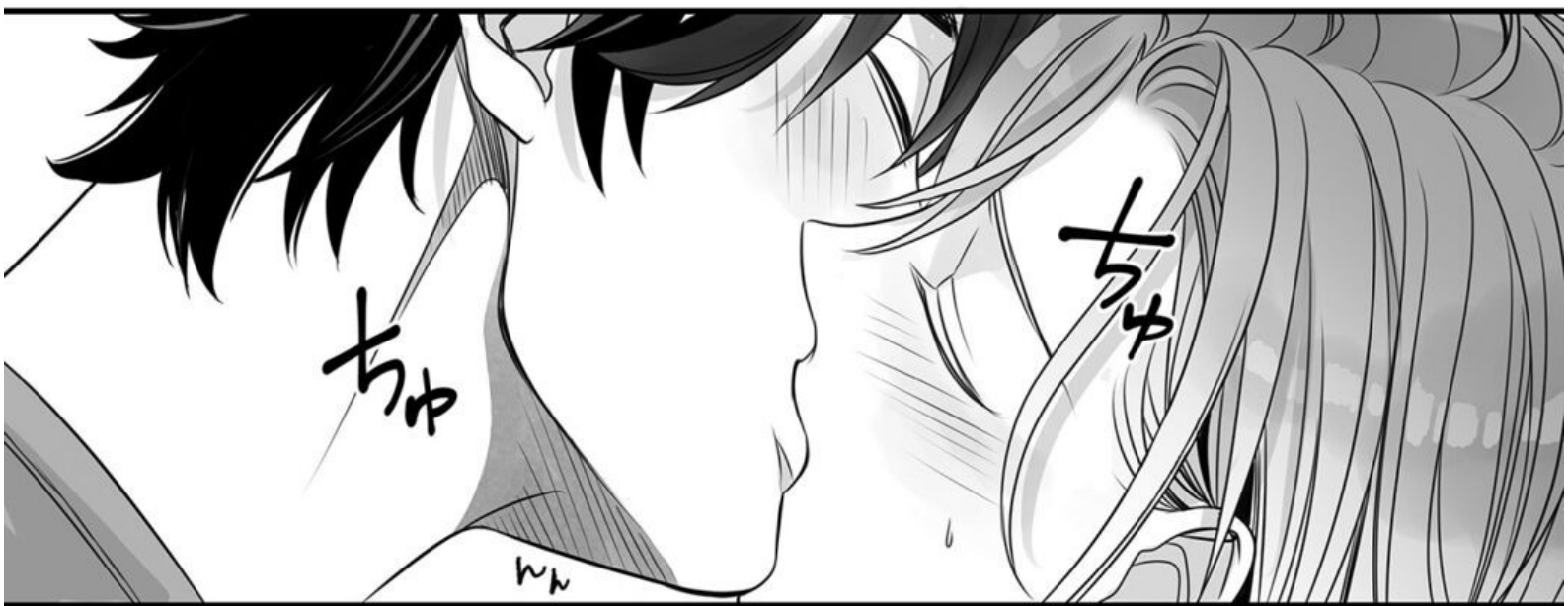




















なめ...!



俺こんなこと
望んでた？

フェアして欲しい
なんて考えた？

願望がなかった
わけじゃないから
無意識の望みが
叶ったってことか？

うっ
雨野おっ

じゅっ

ヒョク

！

いつでも笑ってくれるし
楽しんでもくれるし

こうやって意識外の
こともやってくれる
気がするから……

本当に本心から

俺のこと好きって思っ
てくれてるんじゃないか
って

希望を持ってしまう

ズ
ズ

び
び



そんな…
雨野がそんな怖い目に
あってたなんて

サイテーだよ
ああいうの

勝手に人の体
触ってきたりして

しかも全然面識のない
赤の他人の体だよ

いや面識があっても
ダメか

無理矢理自分の
欲望を通そうとする
とかクズでしょ



俺のことだ

無理矢理サイテー
それって...

だらだら

人をなんだと
思ってたんだろな

だら

だら

そ...だね



自分勝手に触られて
怒るのはあたりまえ
だよなだったら

俺のやってること
なんてもっと…

こんなこと
知られたら
どうなる!?



あんなに調子乗って
好き勝手して

痴漢以上のこと
してるじゃないか

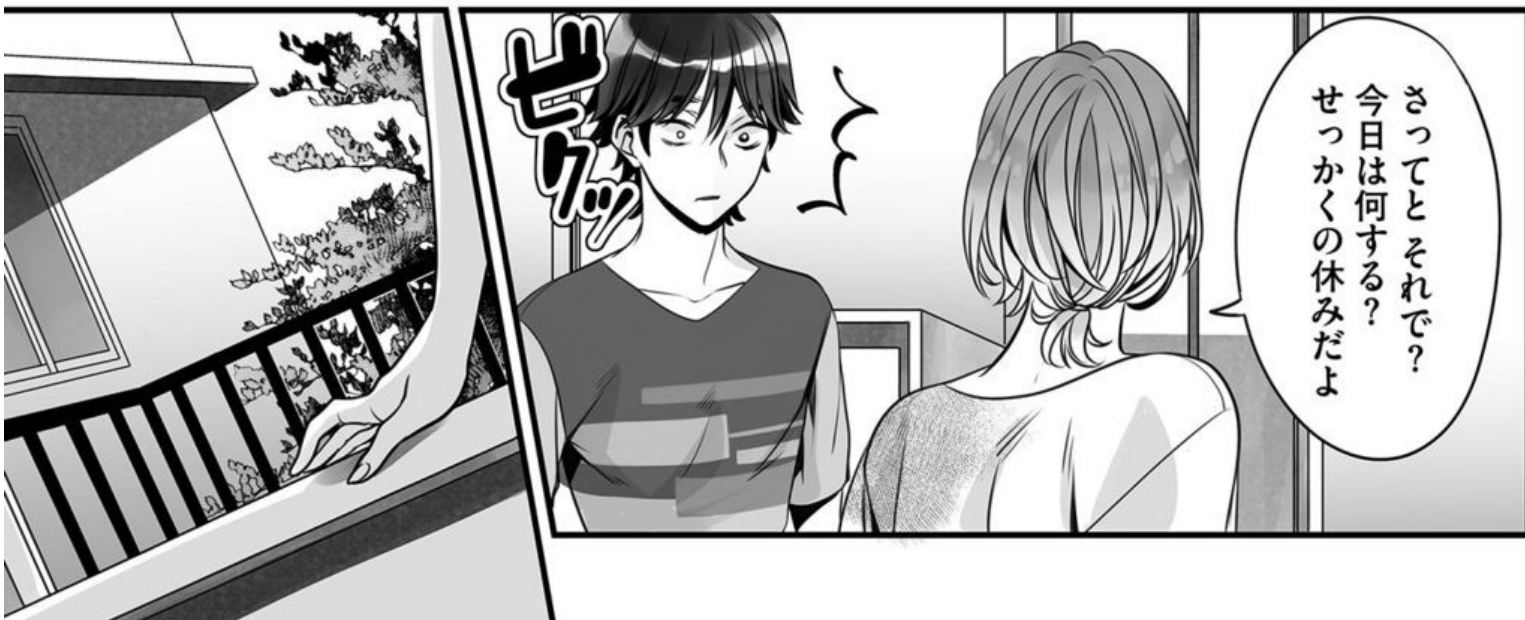


実は俺には思ったとおりに
できる力があって
それで君への願望を
叶えてて

だから本当は君は
俺のことなんて
なんとも思っていないし

そもそも学生時代
友達にすらなれて
なかったような

君は俺と住む世界の
違う人間なのに



さってとそれで?
今日は何する?
せっかくの休みだよ

ゼッ
ク%



ああそんな全面的に俺のこと
信頼してるようなそんな
笑顔を向けないでくれ

俺は雨野が軽蔑する
ようなヤツらと
同じ類の男なんだ



外に何か
食べに行く？

それとも家で何か取って
映画でも観てイチャ
つこっか？

ニニ



なんでもない

雨野のこと
解放しなくちゃ…



どうしたの？
嫌だった？
散歩でもする？

自分の欲望ばかりで
雨野のこと深く考えない
ようにしてた――

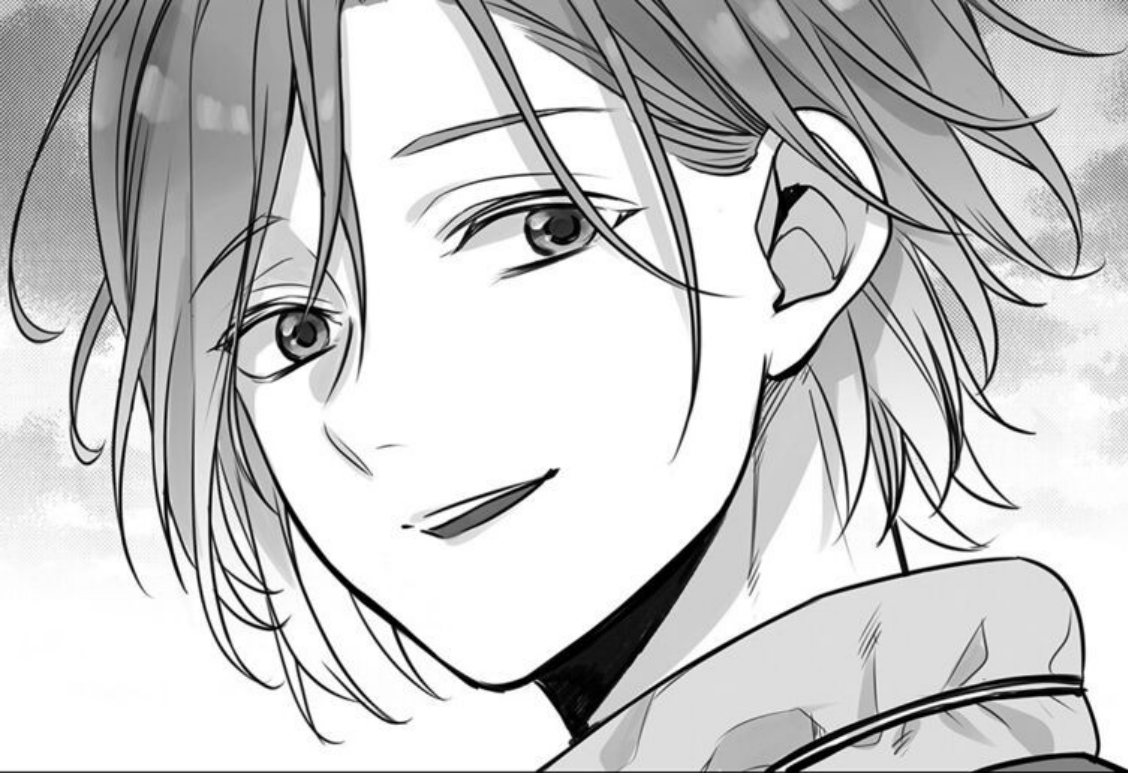
Ordinary
friends

普通の 友達

第 3 話



あまの
雨野が笑ってくれてる



でもこの笑顔も
俺を信頼してくれてる
表情も雰囲気も



俺を好きでいてくれる
気持ちもすべて
ニセモノの感情なんだ

俺たち少し
距離を置こう

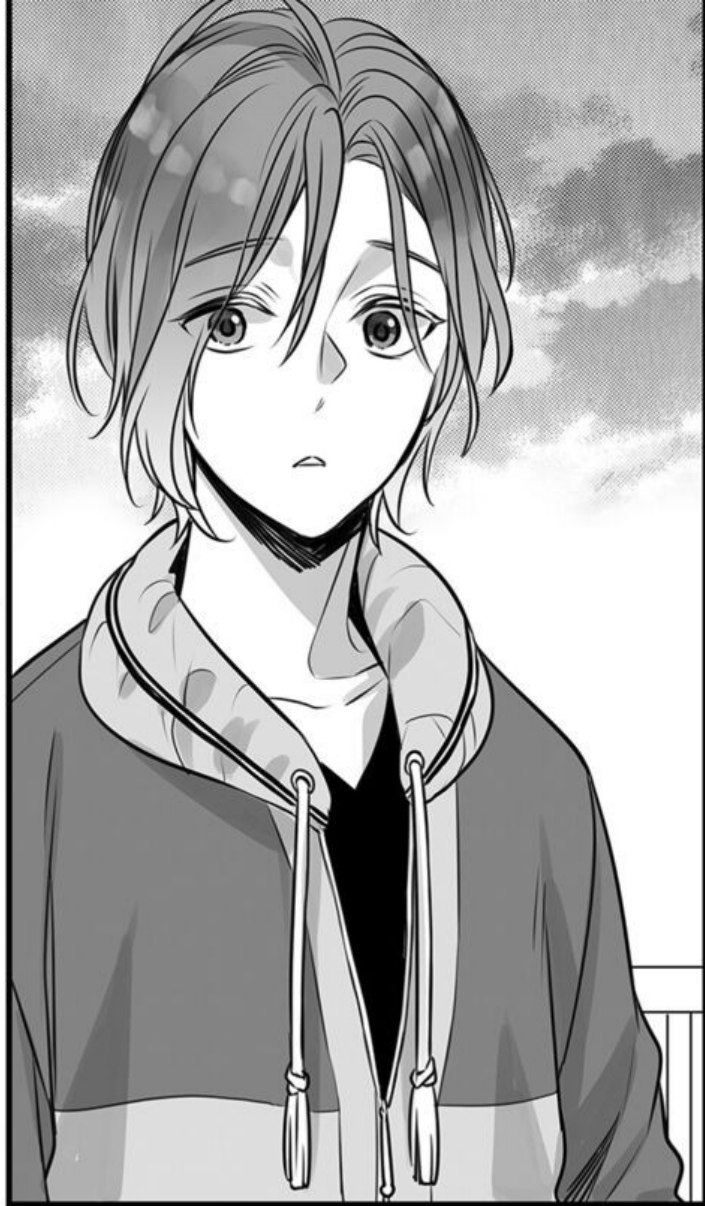


雨野

これは虚構だ

ん？





え？
距離を置くって
どういうこと？

えっとしばらく
会わないっていうか…



軽く別れる
みたいな感じ？

そんな感じ…
かな

ぎゅ



じゃあ何？

それは…その
俺の問題で…



なんで急に？
何かしたかな？

あつもしかして

俺に飽きちゃった
とかいうやつ？

違うよ



その…



いいよ
わかった



距離を置きたい
理由もよく
わかんないけど…

ふるせ
古瀬がそうしたいって
言うんだったら
いいよ



これも俺の思いどおり
なんだなあ



ああ…

終わらせようと思えば
こんな簡単に終わらせ
られるのか

カチャ

淋しい…けど
淋しいって感じることを
おこがましいよな

そもそも元から
好かれていたわけじゃない

この力が無かったら
接点すら持てずに
終わってたよ

…やっぱり取り消そうか
今までどおり普通に
つきあおうって…

ダメだダメだ！

人の体を勝手に触って
思いどおりにしようと
するなんてサイテーだよ



俺のやってることは
痴漢と同じサイテーな
ことなんだよ

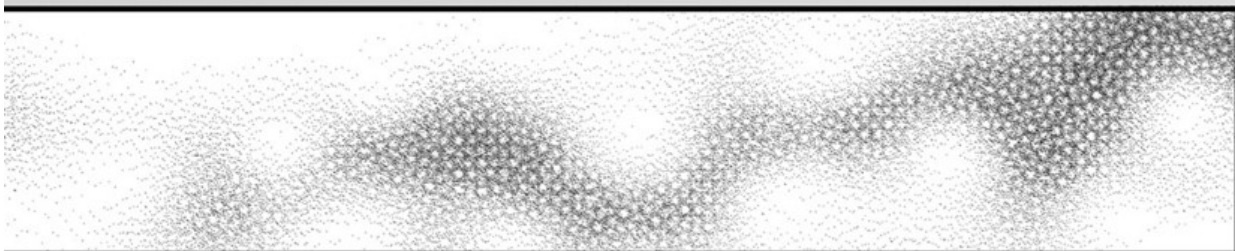
それなのに別れよう
とも言えず 距離を置く
とか言って情けない!

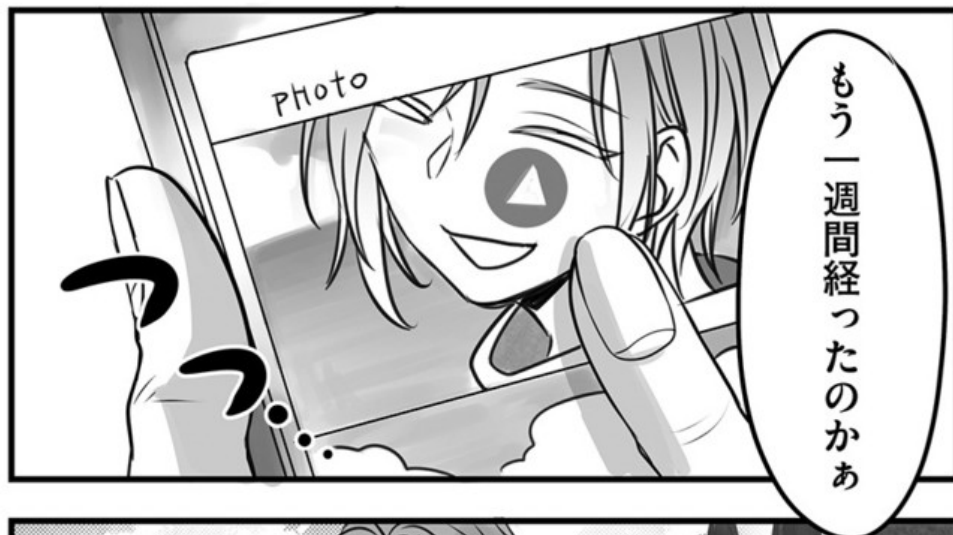


未練を断ち切ろう!
この後もう会えなくなっ
ていいじゃないか!

だってそれが普通に
俺が歩んでくる人生
だったはずなんだ!

雨野が側にいた
これまでが異常
だっただけなんだ!
忘れる忘れる!





はああああ



だけど

いや

だけどさあ!?

すきだよ古瀬

あんなに沢山愛情表現
してきたし繋がりがあって
感じてた

確かに想いは通じ合ってた
気がするんだけど?
そんなあっけなく無かった
ことにできるもん?

いくら俺が距離を置きたい
終わりにしなきゃって
思っても

今までの時間で愛情って
芽生えたりしないわけ?
一回くらい連絡くれても
よくない?





俺との時間はそんなものだったのかよ雨野！





道そっちなの？

そーだよ
こっちだったの！



あっち行こーぜ



なんだよ

なんだよ雨野！



ちよつと距離置こーって
言われただけなのに

他の男と一緒に
居たりするか？
俺別れたいとは
言っていないよな？



勝手なこと言ってるって
わかってるよ
自分で望んだことだって
なのにダメだモヤモヤが
消えない

他の奴という
俺のモノじゃない
雨野なんて…

は

いなくなっちゃえばいい

って何考えてんだ俺は！
今のなし！

違う違う間違い！
取り消した！

ド
ド

ド
ド
ド
ド





雨野！危ない！



雨野 返事くれよ
どうしたの？ねえ

雨野！

待て：さっき俺
何言った？
俺何を願った？

「いなくなっちゃえなこの子」







えっ何？
泣いてんの!?

うっうっ…
よかったあく
無事でいてくれて



ええく
何？
なんで？

だって…ごめん
俺のせいだから

はあ？なんで
俺の怪我が古瀬の
せいなんだよ

だって…
実は…



なんでも思いどおりに
なる力あ？

ええっと
映画か何かの話？
じゃなくて自分のことなの？
ガチで言ってる？
あつ俺のこと元気づけようとしてくれてるとか？

嘘じゃないよ！
作り話でもない！
本当なんだって！

ひき

俺には不思議な力があつて
なんでも思いどおりに
できるんだよ

本当につ！

正気で言ってる？

もちろん正気だよ

これは高校の時
ある日突然起こったんだ

最初は
なんでも思いどおりに
なればいいのになあ
なんて

ありふれた気持ちを
抱いていたんだけど

ある日それが本当に
起こるようになって

それですっと気になってた
雨野と…その
友達になりたいって
願ったら

声かけてもらって
友達になれて――

そしたらもっともって
欲が出て

きつと俺みたいなの
みじめな男を憐れに思った
神様からの贈り物ってやつ
だと思った

それで今みたいなの
関係になってるんだよ



だからその傷も
俺のせいなんだよ

え？
これは自分の不注意で
怪我したんだけど？

いやそれは俺が…
その雨野が他の男と
いるのを見て

俺以外の男という
雨野なんかいないく
なっちゃえばいいって
思ったから…

ええく!?

もちろん!
すぐ取り消し
たけど!

こんなふうに
怪我させちゃって
ごめん!

それに雨野が
こうやって今も
俺というのも
俺のせいだから
ごめん

本心じゃないのに
俺なんかと

雨野の気持ちに
介入したんだ

高校の頃からずっと

…つまり
俺は操られてたから
古瀬とつきあったて
って言いたいのか？

…うん

はあ

真面目に語ってるとこ
悪いけどさあ ホント

バカにすんなよ？

俺は自分が古瀬と
友達になりたいから
友達になつたし

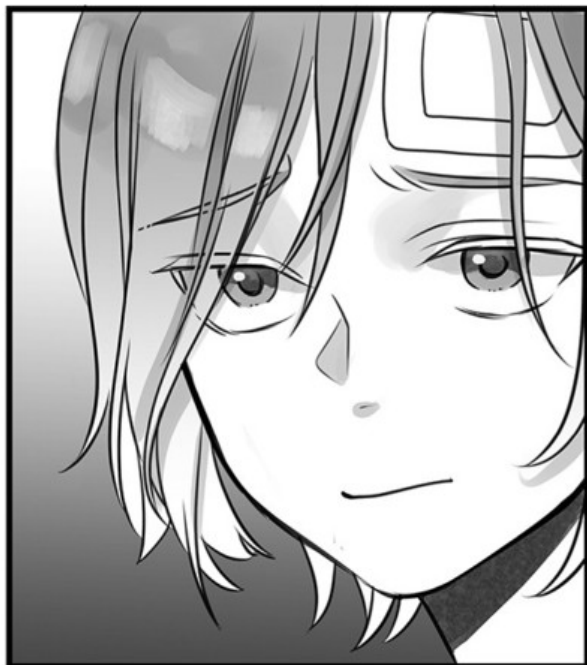
つきあって欲しいって
言われたのも嬉しかったし
だからつきあったし

その気持ちも全部
嘘だって
言うつもりかよ！

それは…
でも

それにつきあっていく中で
シたいて思つたから
シただけど…

それじゃ
ダメなのかよ！



それじゃ俺に
別れようって
言ってみてよ

それは…

いいから！

嫌だね！

わ…

別れよう

古瀬ともっと
いろいろしたいもん！

ほらね
思いどおりになっ
てないじゃん？

えっでも…
えええ

まだ納得いつてない？
それならいいよ

俺がわからせてやる

ガッ











今キスして欲しいって
思ってた？

ほっへ

いや…
不意打ちだった

そーだろー！

カア

面白いなあ古瀬は

こういうこと今までも
絶対あったのに
気づいてなかった
だけだって

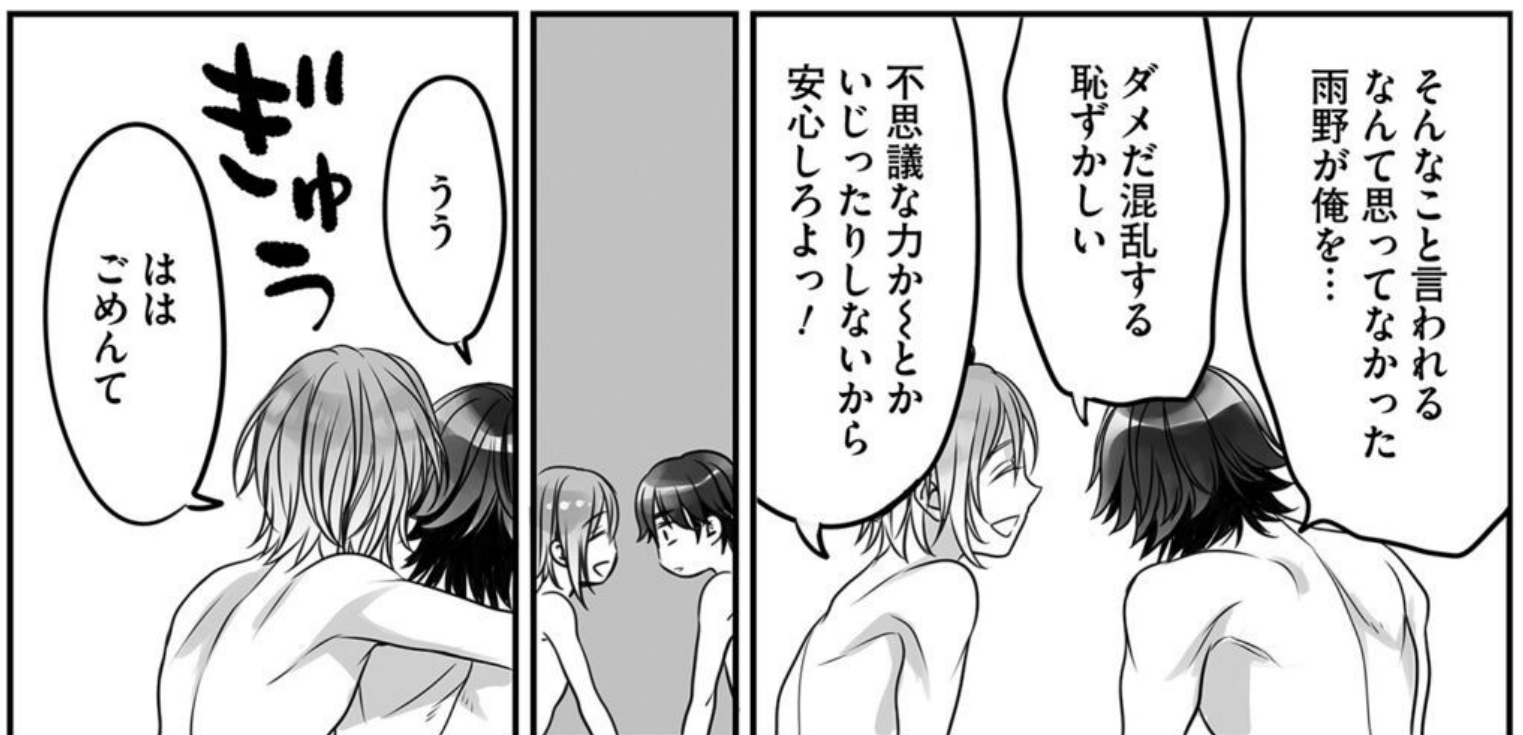
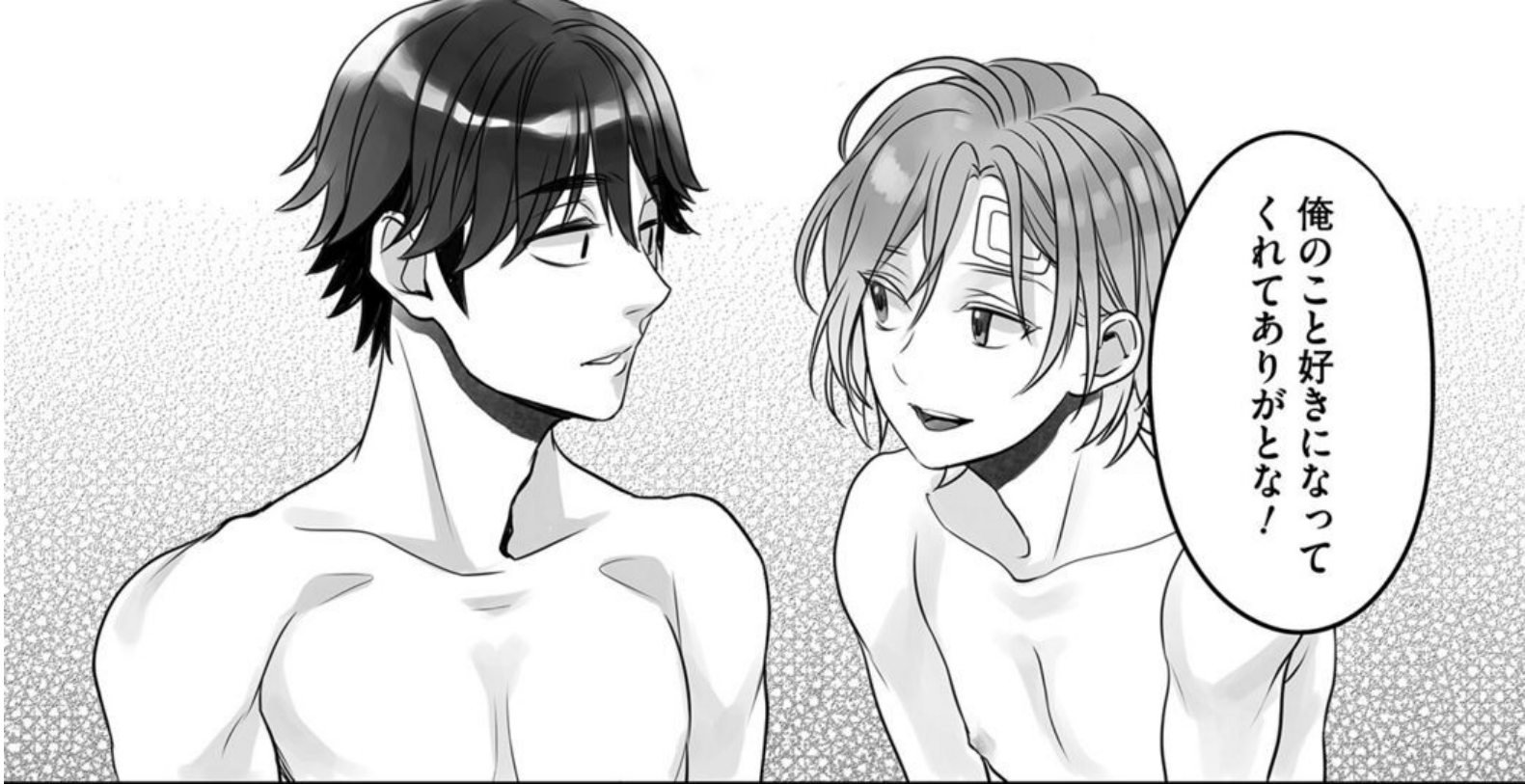
うう…ちよっと
わかんないな
どうやってたかな
どうだったっけ？
ぐるぐるしてる

ううう

物事がおおむね
思いどおりに進んでた
ってことでしょ
順風満帆で良かったじゃん

幸運だったんだよ
きつとね

ん



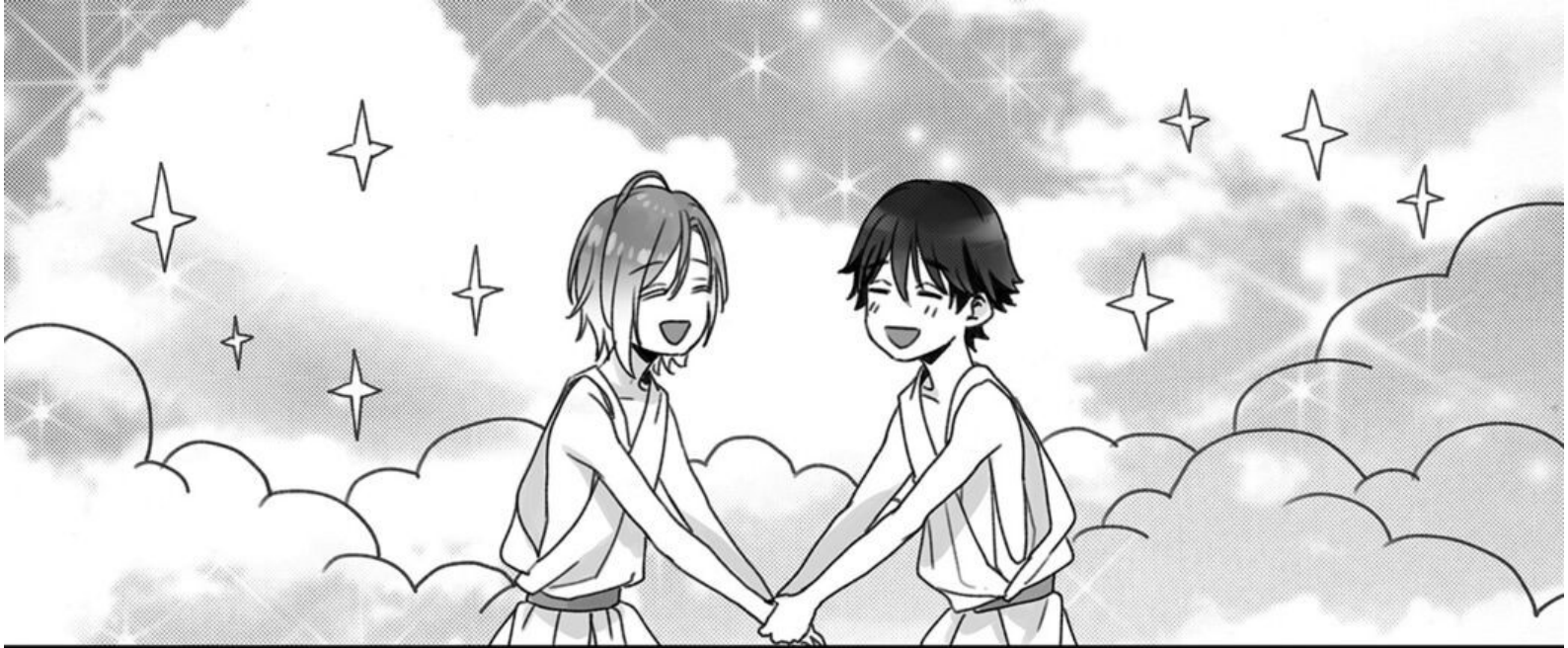


第 4 話

Ordinary
friends

普通 の 友 達





誰だ!?

俺だよ

…俺?

そうおまえだよ
ふるせすむ
古瀬進

お：俺なのか?
俺がいつたい俺に
なんの用が?

いやあ俺はおまえに
冷静に考えて欲しいん
だよー
思いどおり?
んなわけないって
わかるだろお普通
今まで気づかなかった
のかよって

俺は心の中でずっと
問いかけてきたんだぜ

何…

は?

一時の気の迷いって
んならまだわかるけど
何年も? マジかよーって
ドン引いてたよずっとね

う…
いや…でも本当に
思ったとおりのことが
起きてたし

ORE

それに!
俺だったら知ってるだろ
理想どおりの数年間を
歩んでこれたって
それにほら!

雨野が俺と
つきあってくれてる
っていうのが

何よりの
証拠じゃないか

つきあってるのが
証拠って：
それは単純に雨野董市^{とういち}が
おまえのことを好きだった
からじゃないの？

は

何言ってるんだよ
そんなわけないだろ！
普通に考えて
俺なんか雨野と
釣り合うわけがない

いや好きって言って
もらったじゃん

ホラ

好き♡

それは：
言ってたけど

でもそれだって
本当かどうか
わからないだろ

あれだって俺に
言わされてたのかも
しれないじゃないか



そうだよ
俺に言わされてたら
あれは本心じゃない
……いや！

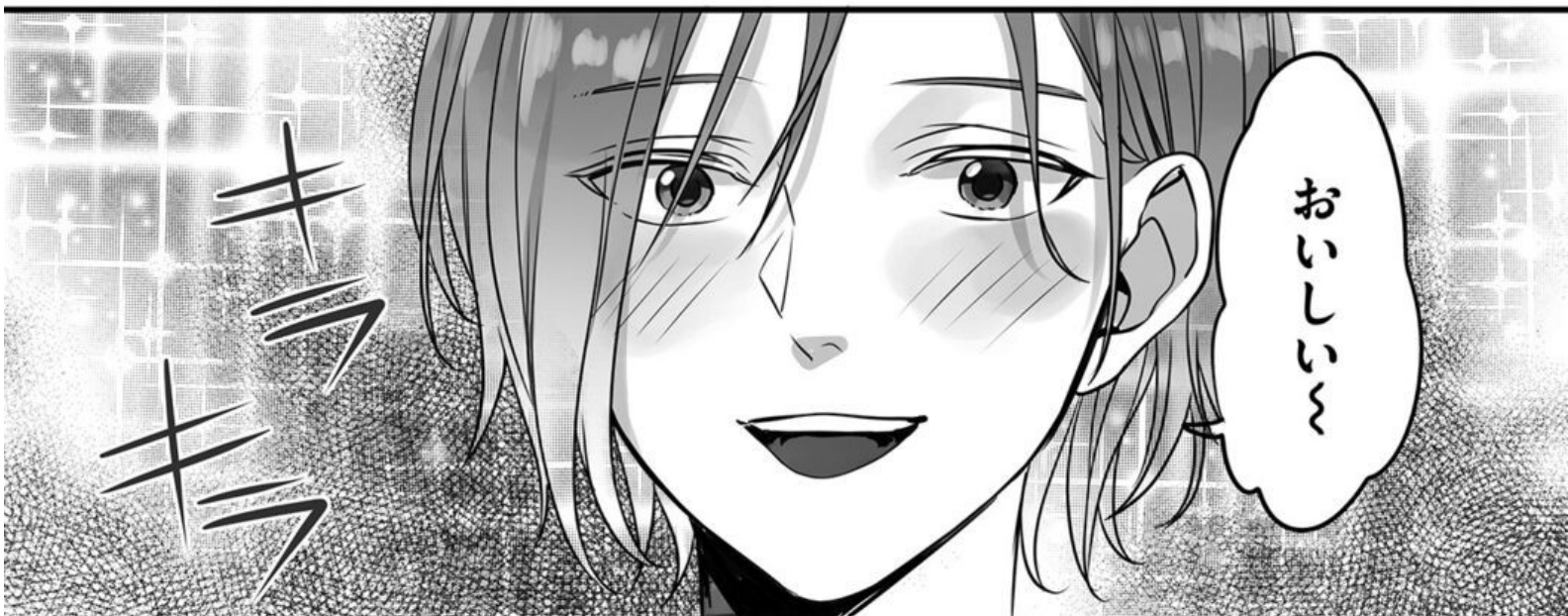
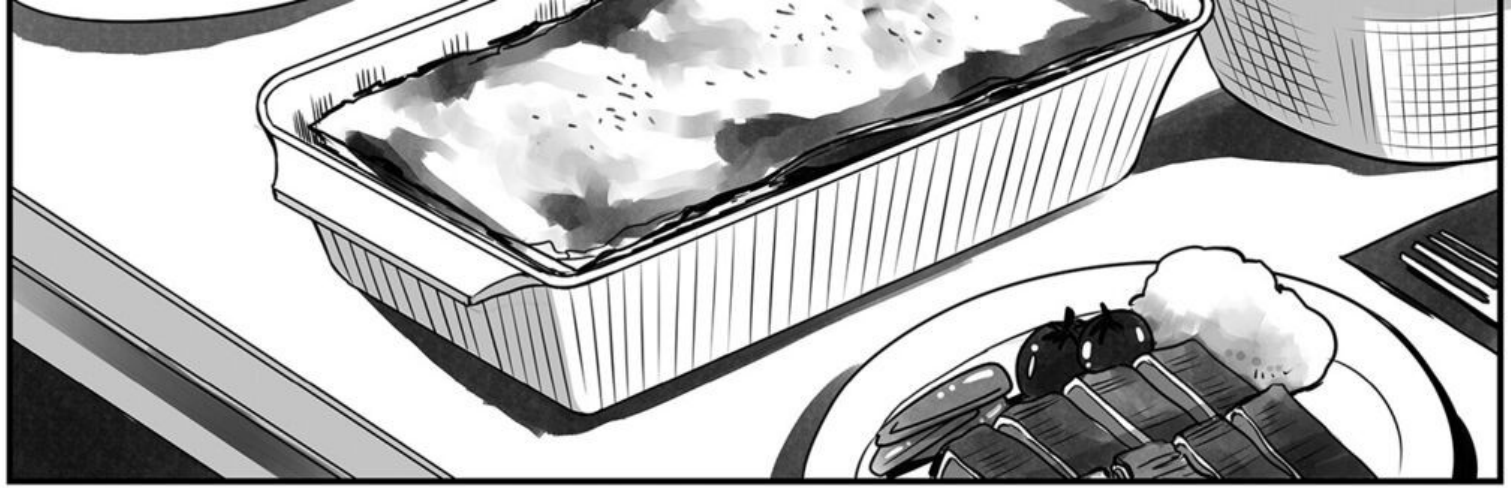
いやいや違う！
雨野は本当に
俺のこと好きだって！

そう好きだって言って
俺のこと望んで
くれてたじゃないか！











ああ、やっぱり
雨野は俺の

神様なんだろうなあ



うう…

ズン

何？
どうしたの？



ぎゅってして
くれない？

ねえ

ん？

え？

いいから



ちょっとどうしたの
変だよ！ しっかり

主母？

雨野は神様
だと思っ

ええ
なんでそうなる？



おいしいって
言ってくれて
凄く優しい
雨野って凄い

凄いの
は古瀬
では？

一緒にいてくれて
ありがとう



俺の方こそ
ありがとう
一緒にいてくれて

いいん



こう？

まゅ

ふふ



さわ



あれれ？

ご飯中
だよお

うん



それに俺
なんの準備もして
ないんだけど？

分かってる
そんなつもりじゃ
ないから



雨野お！

好きだよ

ちょっと
苦しいよ

ん？

はあ

いい匂い

はああ♡

まゅ

まゅ

すう





そうだよ
思いどおりには
いかない…

なんてぬ〜



トク



もう思いどおりには
いかないんだぞ

それでもできるの？



できるのか
俺から？
今までみたいに
主導権を
握って？



いやでもこの前
できてただろ
だから大丈夫！

いやでも
あれは雨野がリード
してくれたような
もんじゃないか

いや！ いやいや大丈夫
普通にすればいいよ
今までどおり…？ あれ？

どうやってたっけ
やばいーこんなので
できるのか

おい

へマしたら？
失敗したら？

嫌われてしまう
かもしれない
そして最悪
失ってしまう
かもしれない

ふくるせ

ごめんやっぱり
ご飯食べよう

あー
うんそうだね
せっかく作りたて
なんだもんね

でも…平気？

はは

何が？
もちろんっ
大丈夫だよっ

ああ優しいな
雨野は

なのに俺は
意気地がなくて
自信がなくて

やっぱり全然
雨野に釣り合っ
てないんだよねー



ダメだ
このままじゃ
変わらなきゃ

んじか

食べよー

わーい



不思議な力があるなんて
思いこんでいた時のような
大胆さを——いやそこまで
望まなくてもせめて

普通に雨野と対峙
できるような

自信の持てる男に
なりたい——
そうじゃないと俺は

この先雨野と
一緒にいても
辛くなるだけだ！

かゝるぞー おー

かわるぞー

おー!!



おー

だん



何やってんだよ
雨野 不安がらせて
どーすんだよ！

嫌われたくないとか
臆病で自分のこと
ばかり考えて

なんの行動も起こせない
なんてダメでクズなやつ
なんだ俺は——！！

んー

ねえ
行きたい所
あるんだけど

つきあって
くれる？



そんなに遠く
ないのに大人に
なると行くこと
ないもんね

もうずーっと
遠い昔のことの
ように感じるよ

そうだね



高校？

懐かしいだろー



俺の高校の思い出
っていったら
雨野のことばかりだな

俺は古瀬のこと
ばっかり見てたな

あっ俺も
雨野のこと
ばっかり
…って

ええ
ええ！？



この間は言わなかったけどさ
古瀬が俺のこと思いどおりに
操ってるーとか
勘違いして話しかけてきた
それよりも前から

俺は古瀬のこと
見てたんだよ
気づいてなかった
でしょ？

いつもひとりでした
じゃん古瀬って

勉強もできるし
背も高いし
かっこいいから
話したいのになんか
近寄りたいたんだよね
ってずっと思ってた

背が？ 勉強？
かっこいい!?

そーだよお

学校以外では
どんな感じ
なんだろうとか
彼女いるのかなとか

いないわけじゃないよな
でもないなかったら
もったいないないな
モテるだろうな
とかね…考えてた

卒業したら
誰かのものに
なっちゃうのかな
って思ったらすごく
嫌な気持ちになって

どうしてそんなふうに
思うのかって
悩んだりもした

だから声かけてもらった時
嬉しかったしそれで
ああーそうなんだって
気づいたんだよね

気づいたって
何をどういう…？



古瀬のことが
好きなんだなーって
俺の気持ち



うん
それはね



それからもちろん
ずーっと見てた
操られてなんかいいからね
それに今…今もそうだよ
だからさ

俺のこと俺の気持ち
信じてほしい

こんなに好きなんだからさ

う…

うんうん
ごめん

なで

だから
謝んたって

じゃあ少し周辺
散歩してく？
せっかくだしね

うん

サク

サク

落ち葉だらけ
だねえ
ここ走ったよね
体育の時にさ

じわじわ
熱くなってきた
なんだこの感覚
えっとなんて
言ってたえ？

雨野が俺のこと
好きだった？

雨野が
俺を…？

じい



いいよ

何とうしたの
見られちゃうよ



お？

きゅ

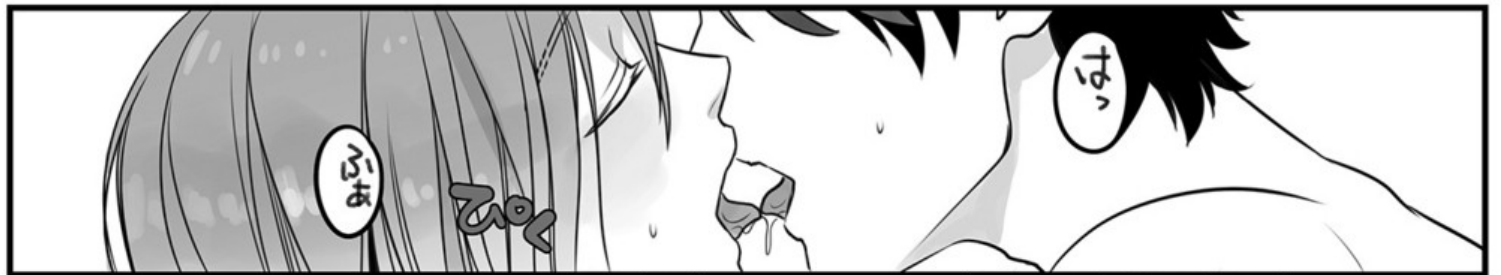


雨野…どこか
寄って行かない？

ん…
いいよ
だけど



俺は古瀬の家が
いいな





はちゅ はちゅ

はちゅ

あつ

あつ

はん

はん

待ってねえ
まだあ

長くない？

いつちやいそ
なんだけど

いいよ
イって



あつ

やつ
そこ

あーっ

すん

ふさふさ

ふさふさ



あ

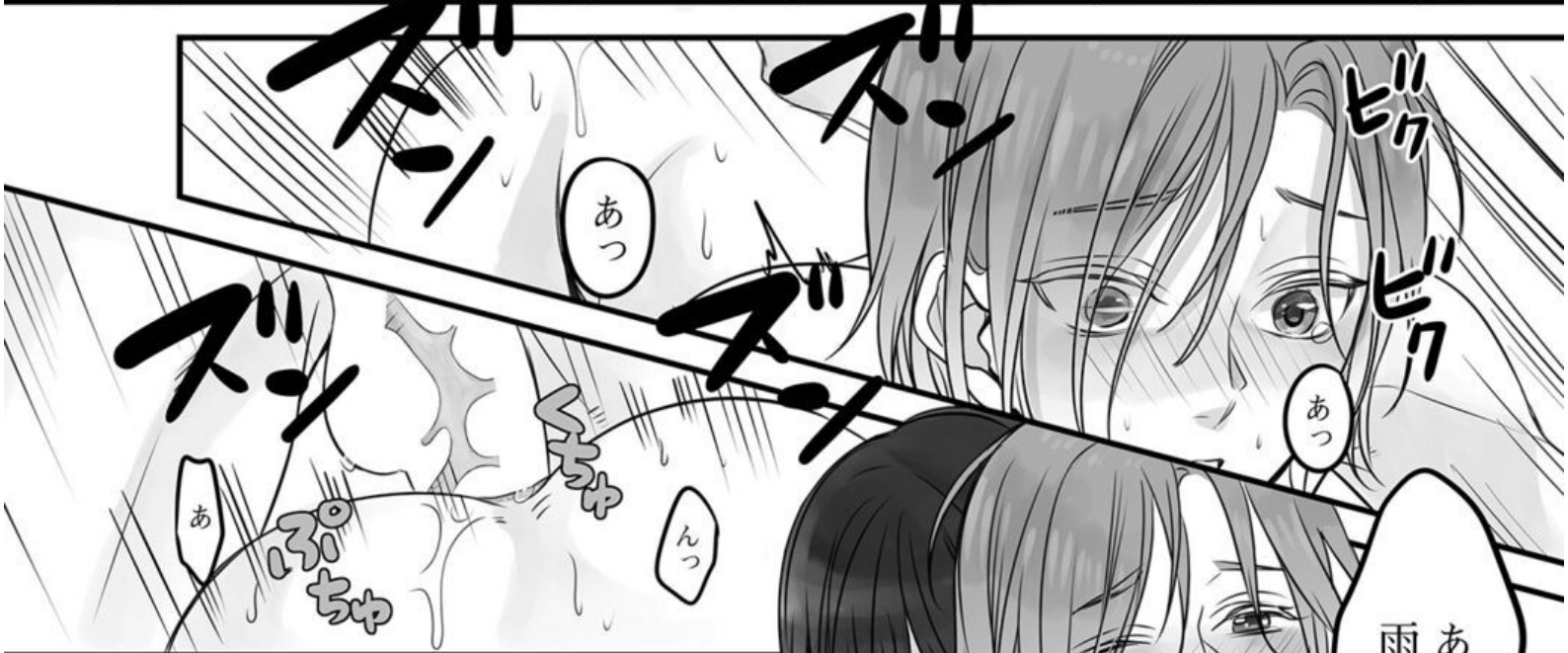
そこっ
コスつちや
だめえ

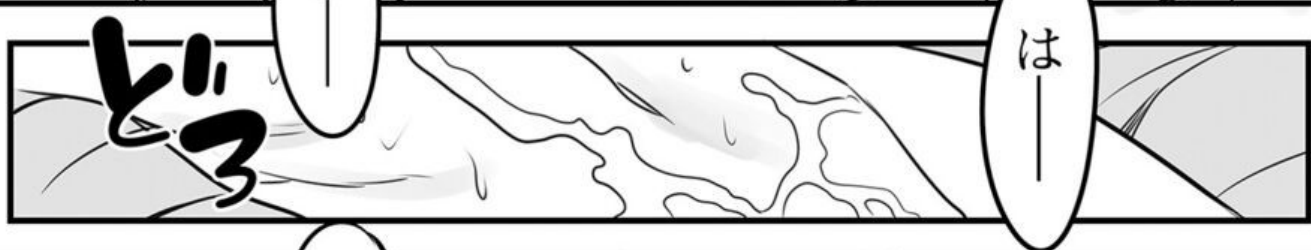
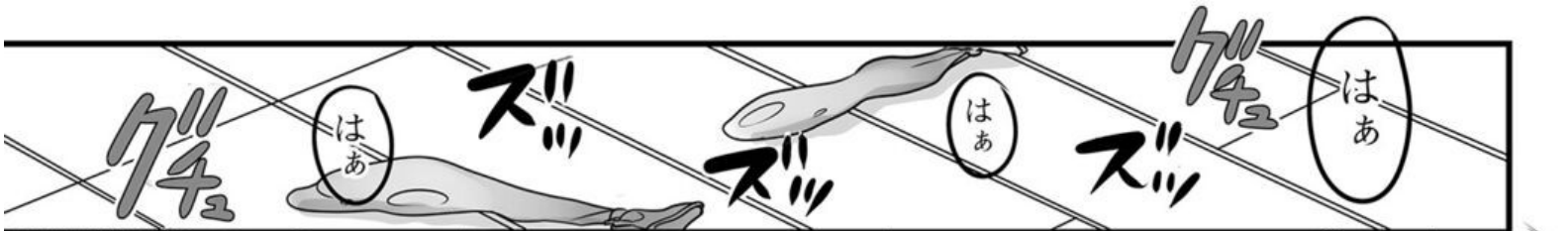
!!

ぐ ぐ ぐ

ん

ぐ ぐ







ねえ
古瀬

ん？



いっ

何？



今まで
古瀬は俺のこと
好き勝手に操ってた
って思ってた
わけじゃん

あーうん
そ…う
ごめん…

そうじゃなくてさ
結局それが事実じゃ
なかったわけだけど
古瀬は思い込んでた間
楽しんでたわけでしょ
それってちよっと
ずるいって
思うんだよね

え…
ずるい？



そうずるい
だからね

その分これからは
俺の好きなように
できたらって思うわけ

これってわがままだって
思う？



ううん！
わがままなんかじゃない！
全然いいよ！
雨野の好きにして！
なんでも言って！
なんでも命令して！

下僕です俺はー！

えーっと
そういうのじゃ
ないってば

雨野の望み
なんでも叶えられる
男になるからー！

この先ももっと
一緒にいよう
期待してて

まよと

うん
期待してるね





第 5 話

Ordinary
friends

普通の 友達





あっそうだ
髪の毛

髪下したほうが
暖かいんじゃないかな？

えー

ほら耳とか
隠れるし

いやあどうだろ
冷たくなってるよ
髪の毛



にょ
にょ

仕事の都合で伸ばしてるっ
って言うってたけど
雨野の長い髪
すごく気に入ってる

ずっと縛ってたから
跡付いちやってるし
なあ

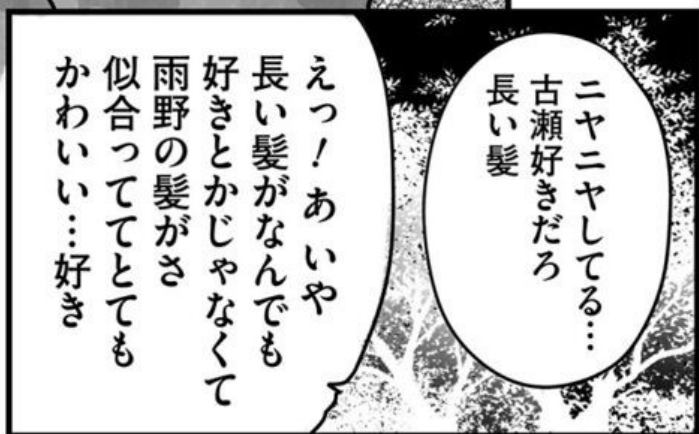


うわ

好きって…

もー褒めて
もらってるところ
悪いんだけどさあ
…いいかな？

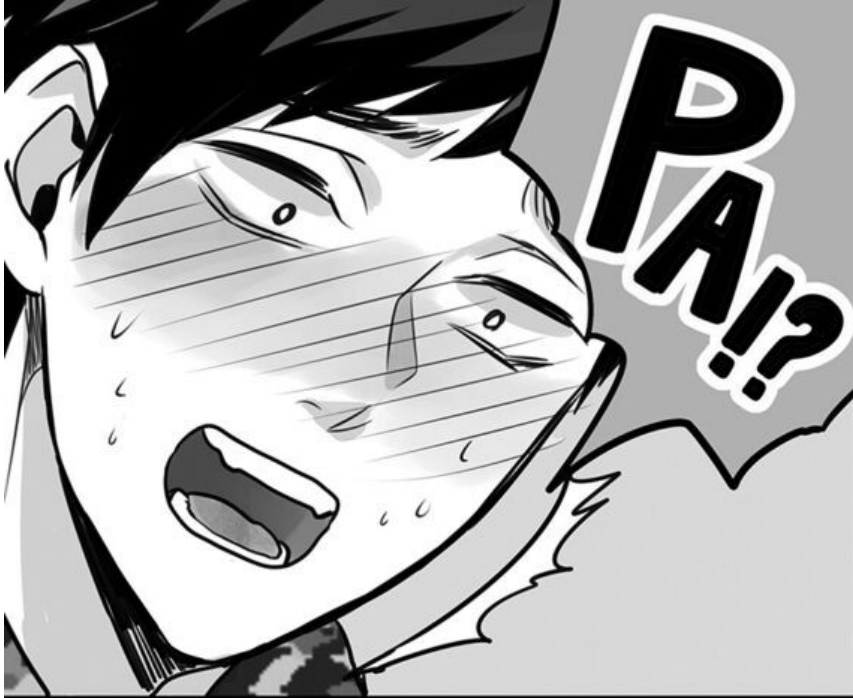
何？



ニヤニヤしてる…
古瀬好きだろ
長い髪

えっ！あいや
長い髪がなんでも
好きとかじゃなくて
雨野の髪がさ
似合ってたとても
かわいい…好き

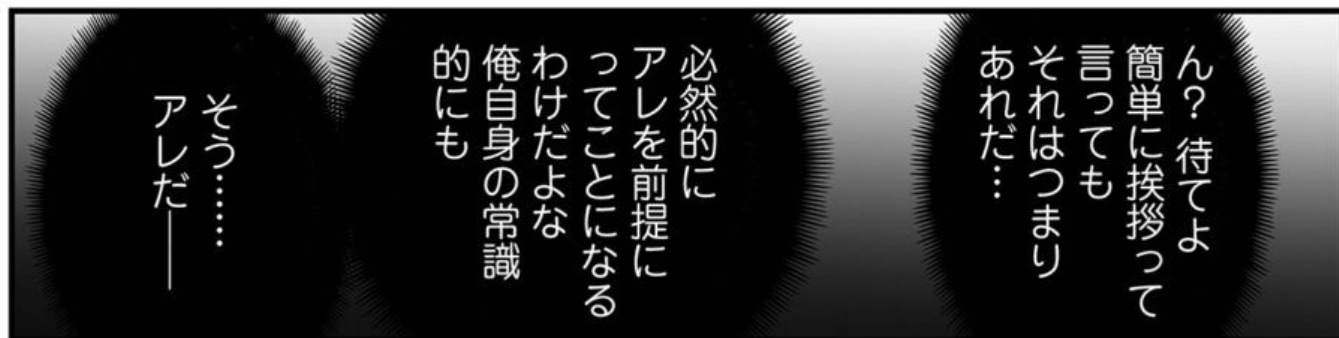






そういえばこんなふうに
学生時代からつきあって
同棲までしてるのに
挨拶したことがないな

早く行こうよー



ん？ 待てよ
簡単に挨拶って
言っても
それはつまり
あれだ…

必然的に
アレを前提に
ってことになる
わけだよな
俺自身の常識
的にも

そう……
アレだー

結婚!?



そうだよ結婚！
今まで頭をよぎらなかつた
わけじゃないけど
まだ学生だしー新社会人だし
とか考えないようにしてた
そうだよな

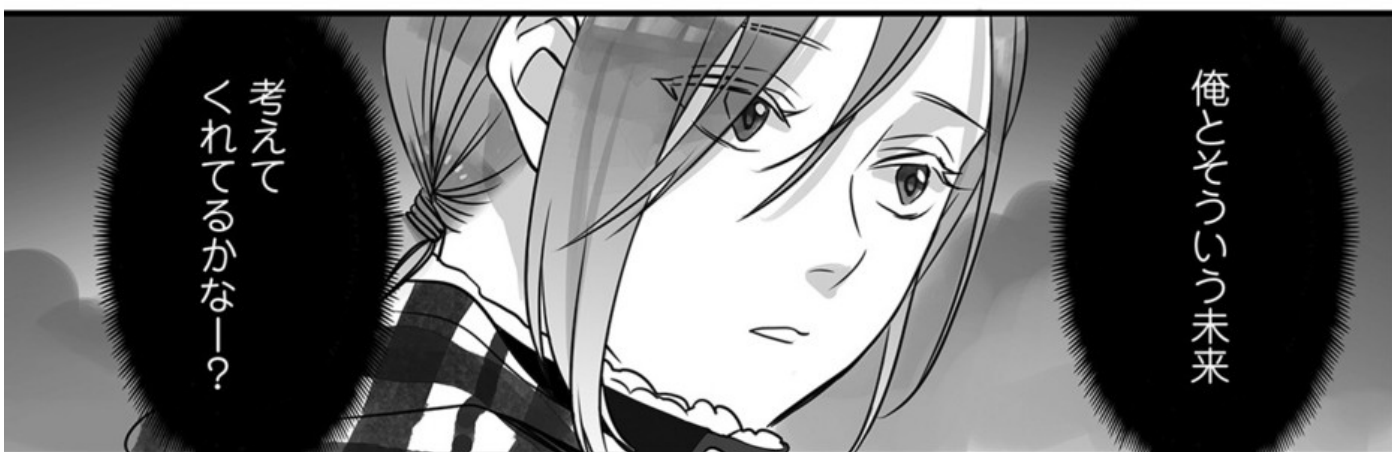
今日は
弁当でいいかな

同性婚が認められて
何年も経ってるんだ
俺も…
俺たちだって…！

ちよつと古瀬
聞いてるー？

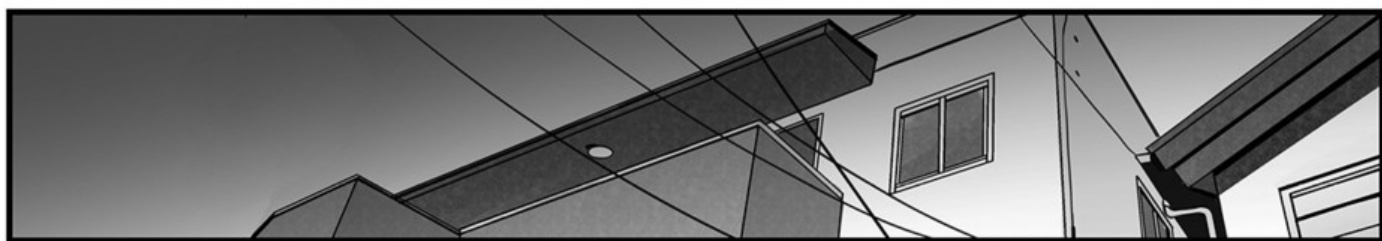


雨野はどっ
思ってるんだろっ



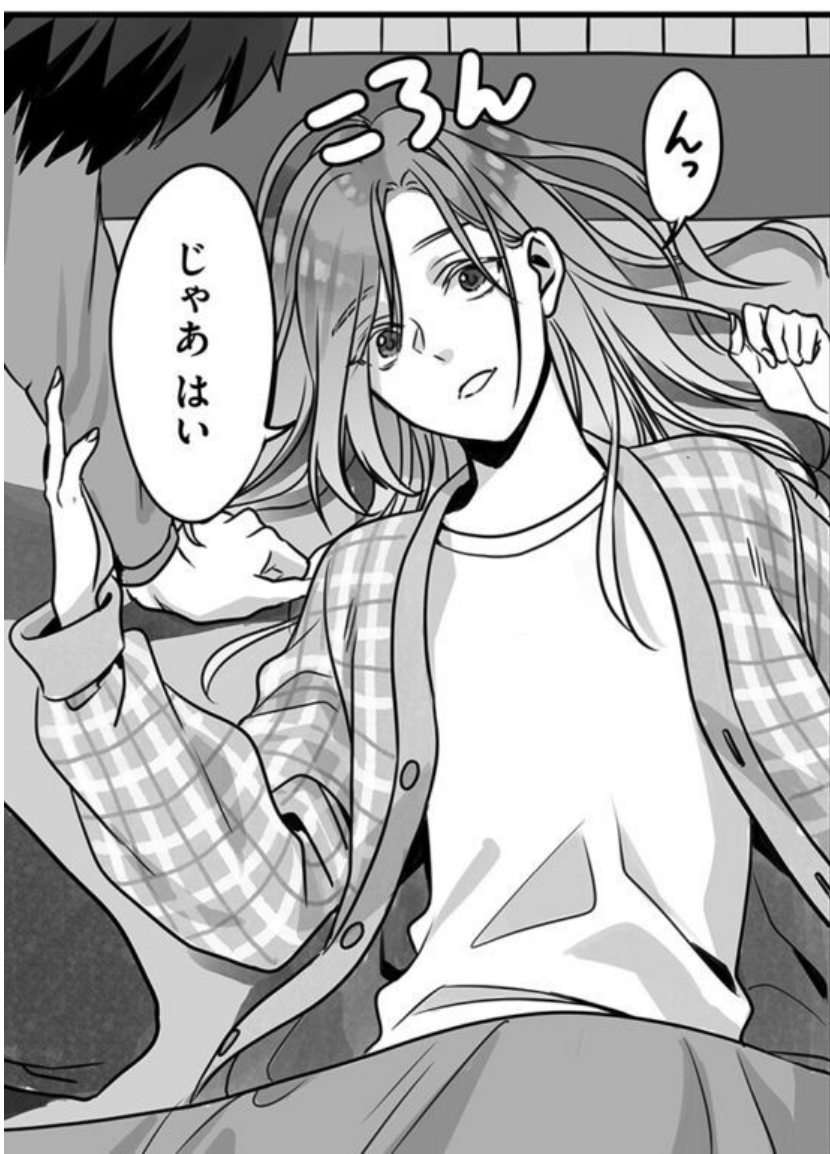
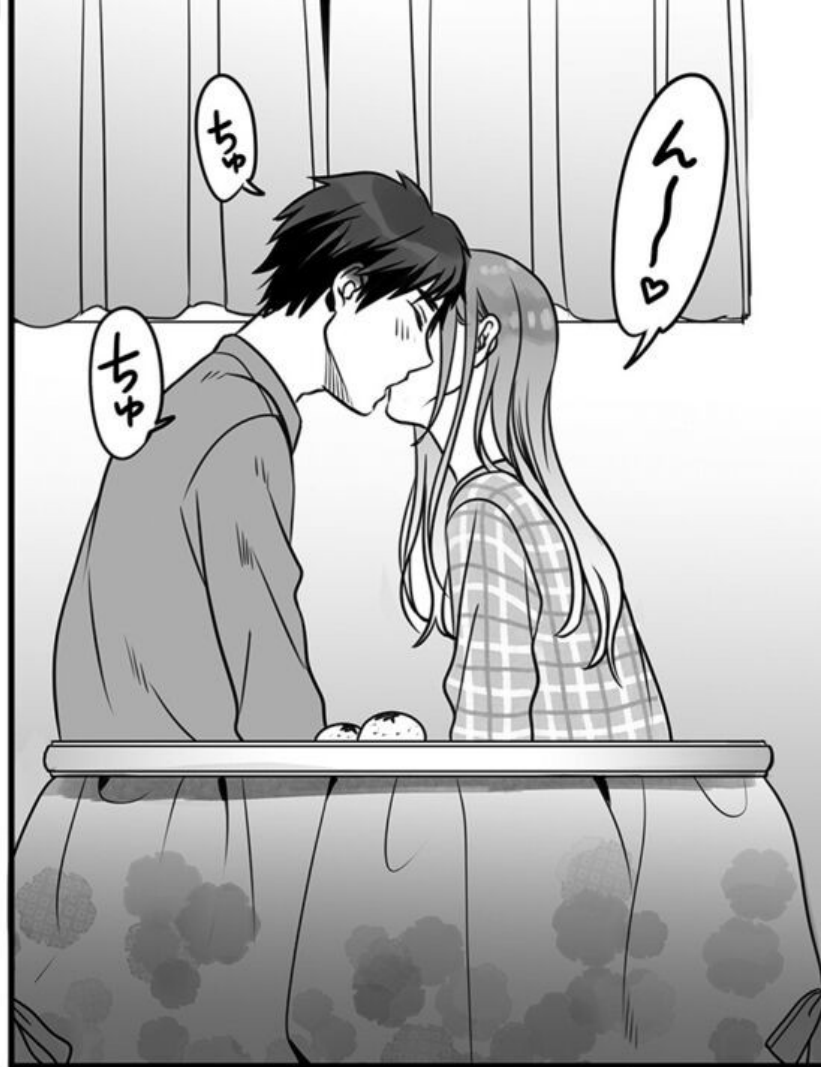
俺とそっいう未来

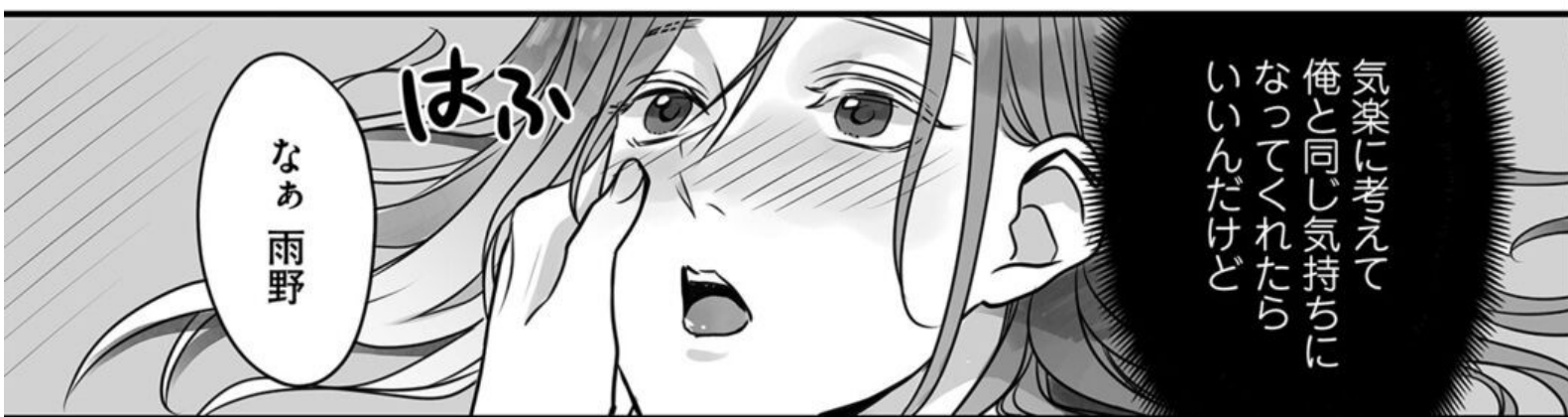
考えて
くれてるかなー？



ちゅ

ちゅ







んーそうだね
だったらいね



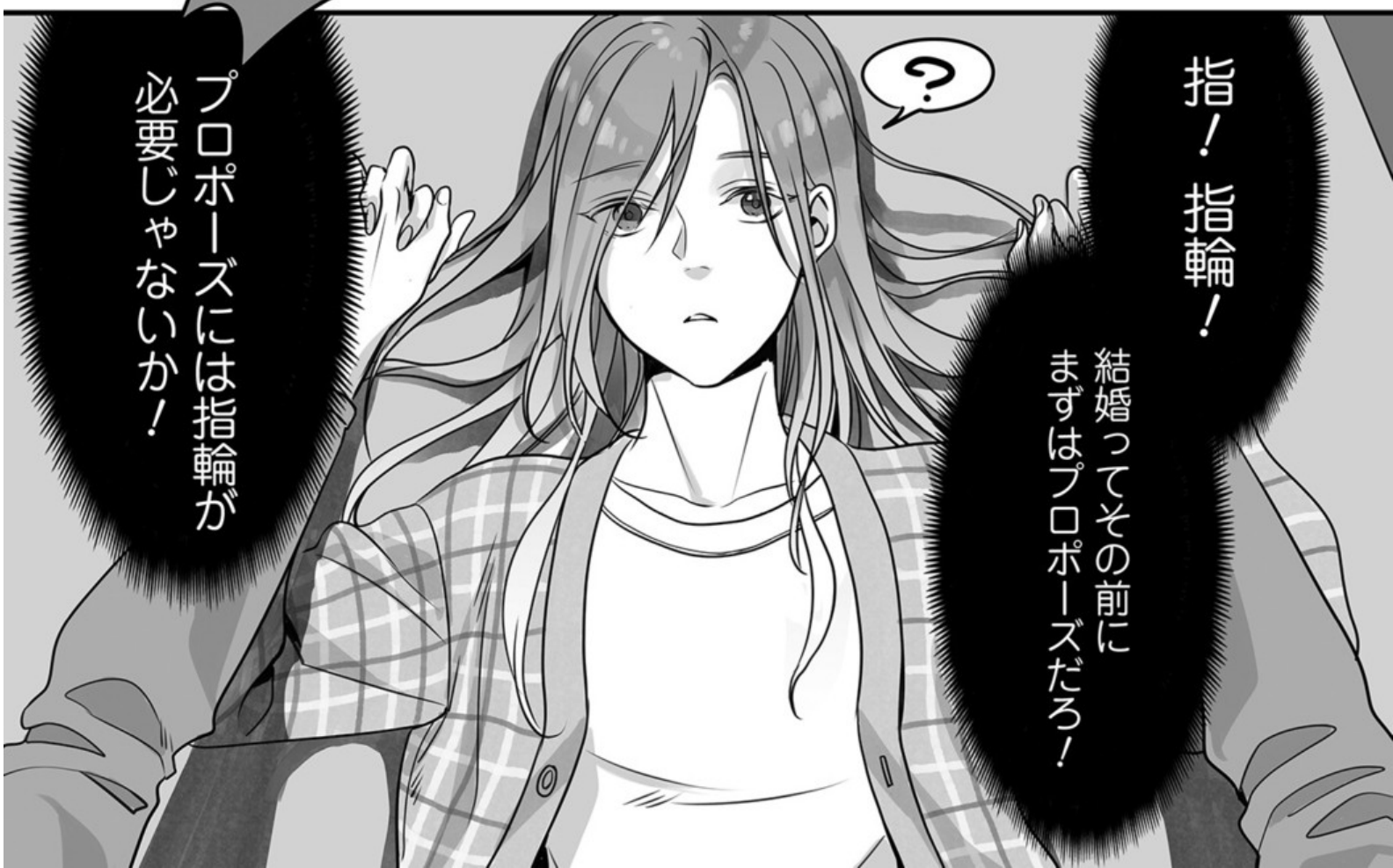
コタツでエッチ？

ん
そういうのも
含めて



手…
握り返してくれる
この指が

俺は大好き…



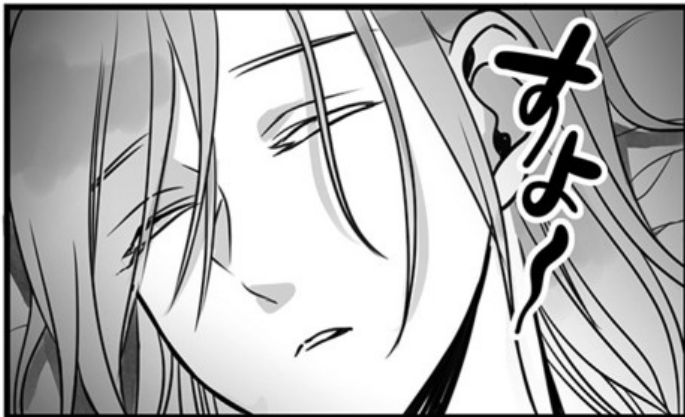
指！ 指輪！

結婚ってその前に
まずはプロポーズだろ！

プロポーズには指輪が
必要じゃないか！









なにー!?
結婚だと!?
急に何を言い出すんだ
この男は!

許すわけが
ないだろう!
おまえのような者に
董市はやらんぞ!

あなた

父さん!



お父様お話をー!
どうか聞いてください
俺は真剣に董市くんをー

ええい黙れ!
誰がおまえのお父様だ!
さっさと出ていけ
このたわけがぁ!

やめて父さん!

あなた

※古瀬君は最近昭和のドラマを
履修しました

ドクニ



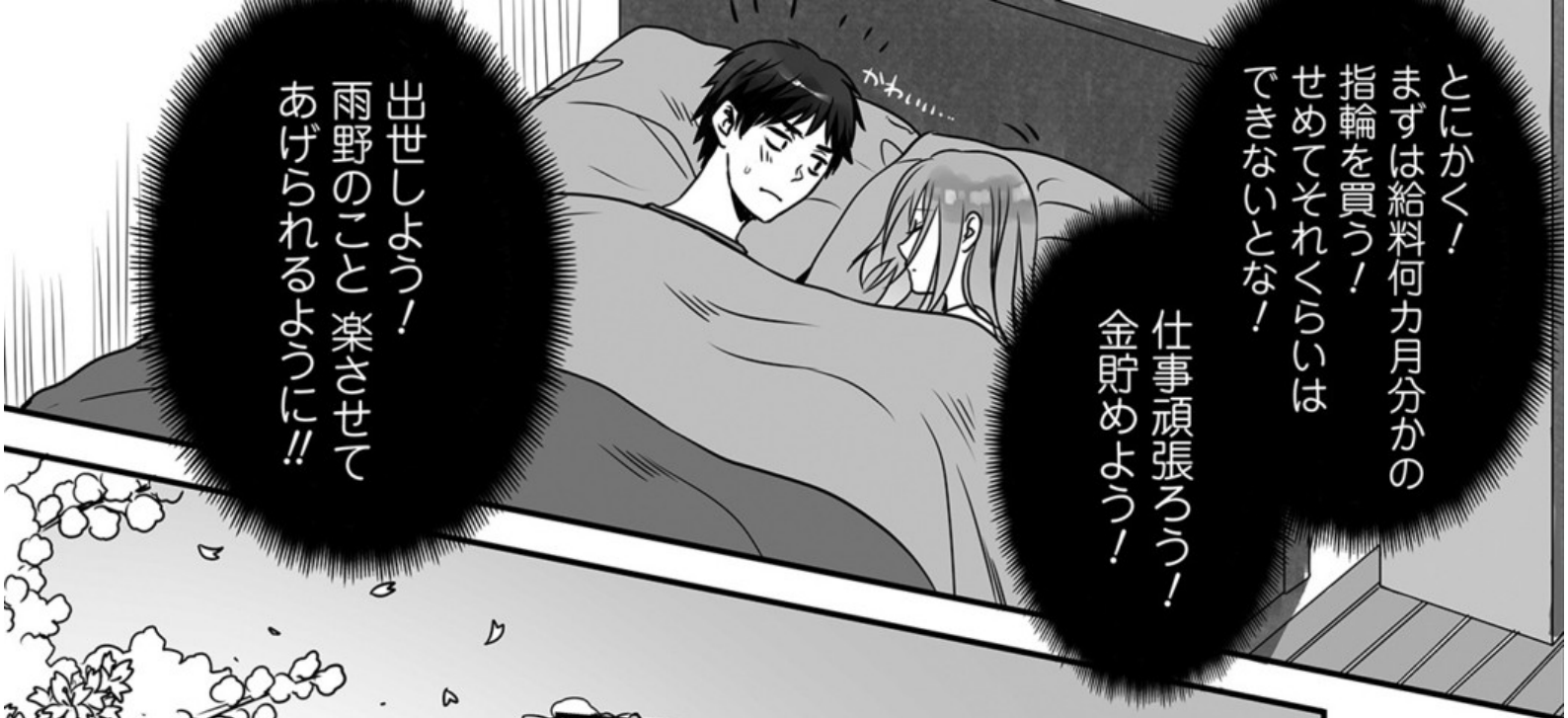
足蹴にされて
ボコボコにされて
反対されても
俺は耐えてみせるぞ
許しを得るまで
諦めないからな!

まゐ
まゐ

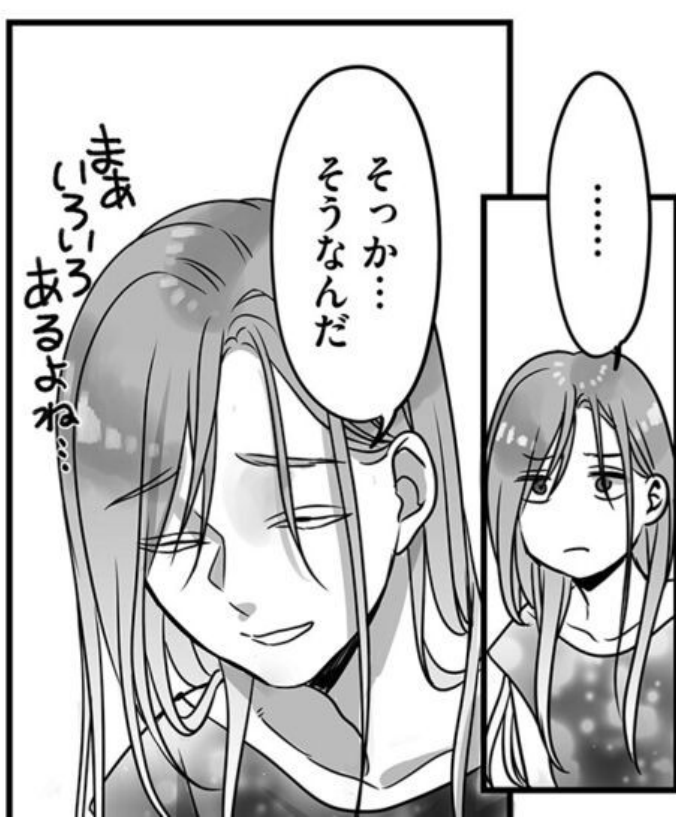
とにかく！
まずは給料何カ月分かの
指輪を買う！
せめてそれくらいは
できないとな！

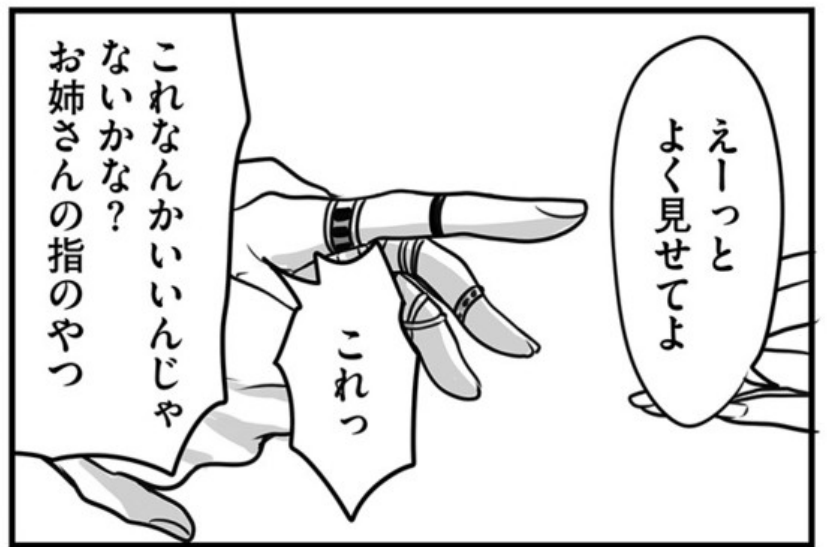
仕事頑張ろう！
金貯めよう！

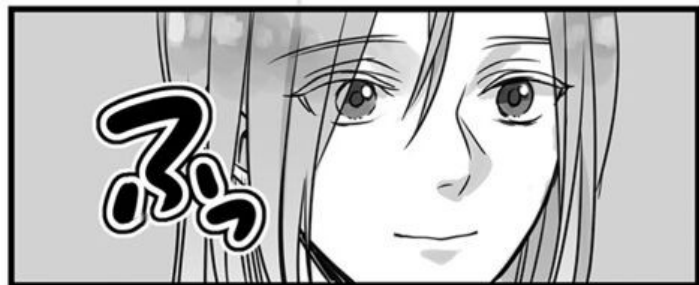
出世しよう！
兩野のこと楽させて
あげられるように！！

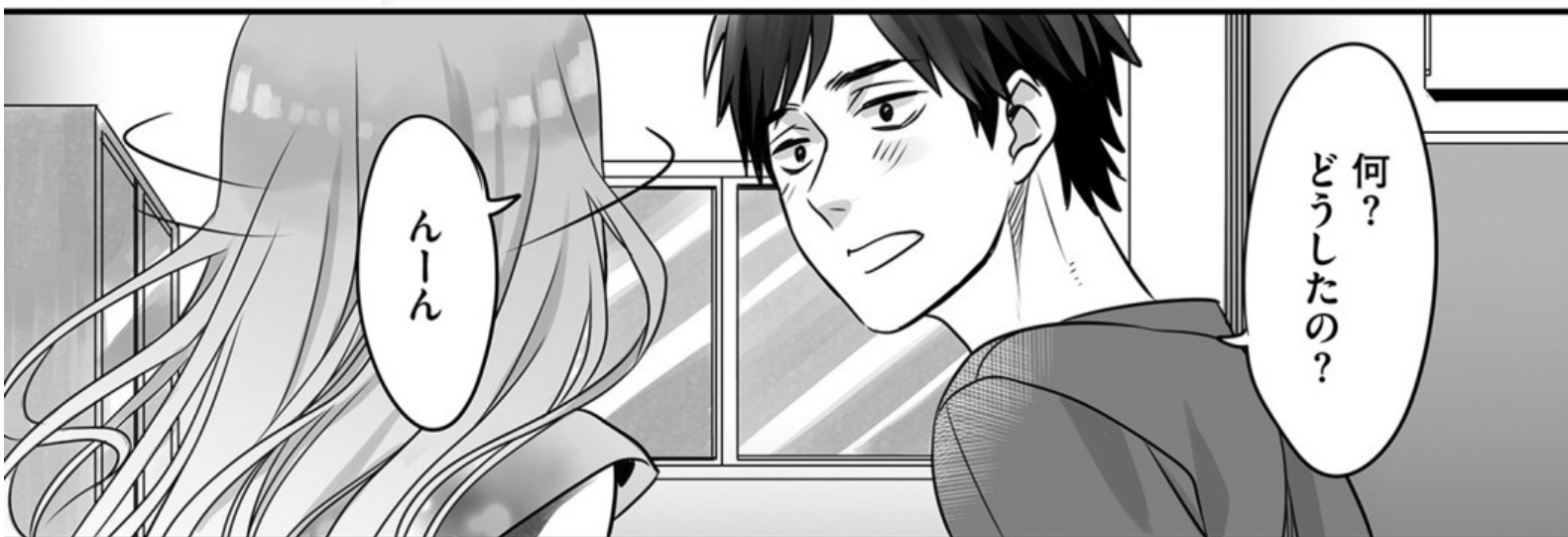


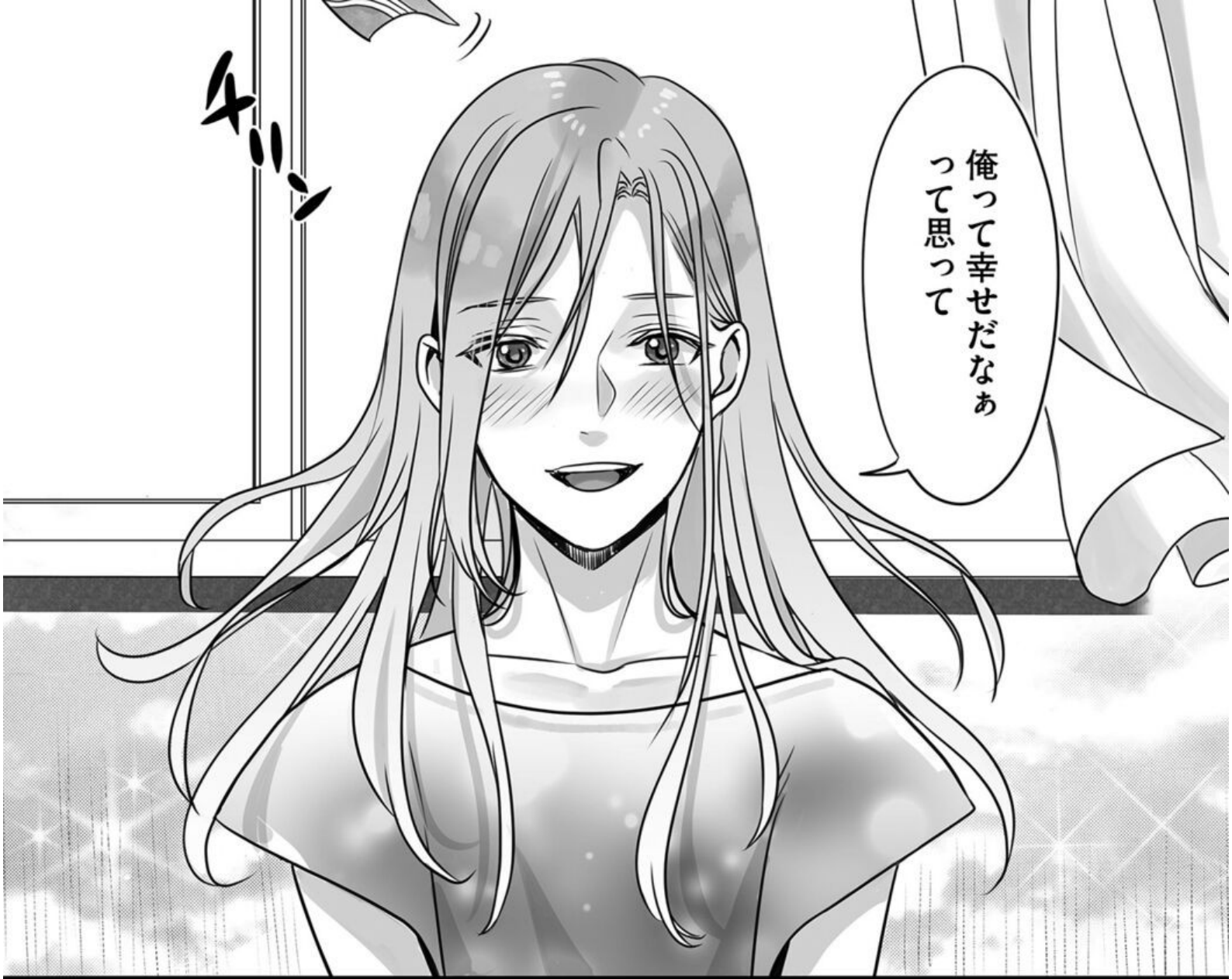
110A
110A











END



同じクラスの
古瀬進くんだ



俺には気になる人がいる

青き日の純情

コミックス特別描きおろし



ここが男子校で良かった
女子がいたら絶対
モテるでしょしたら
嫉妬と焦りでどうにか
なっちゃうもん絶対

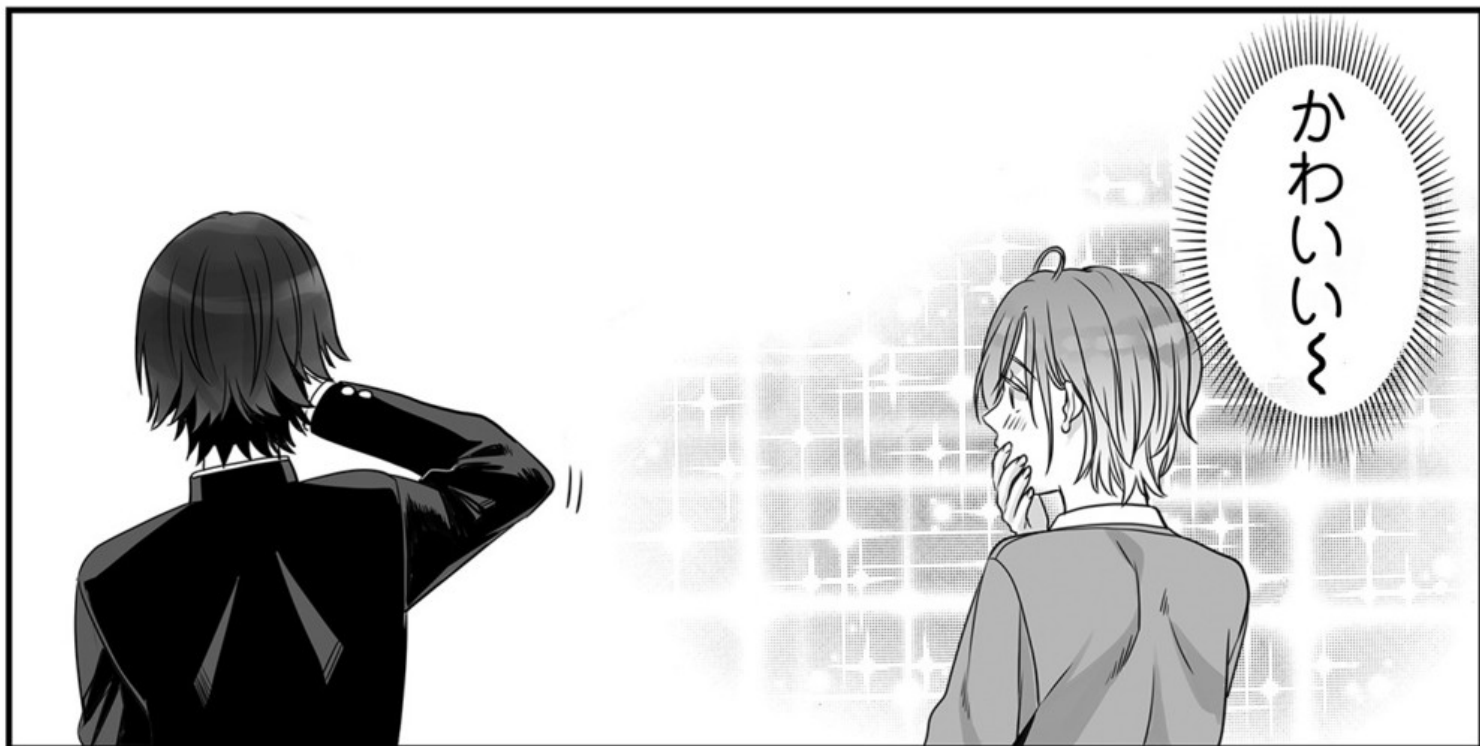
彼はいつもひとりであって
頭も良くて格好いいのに
誰ともつるまない
孤高の男！って感じで
それがまた俺の心を
引きつけちゃうのだ

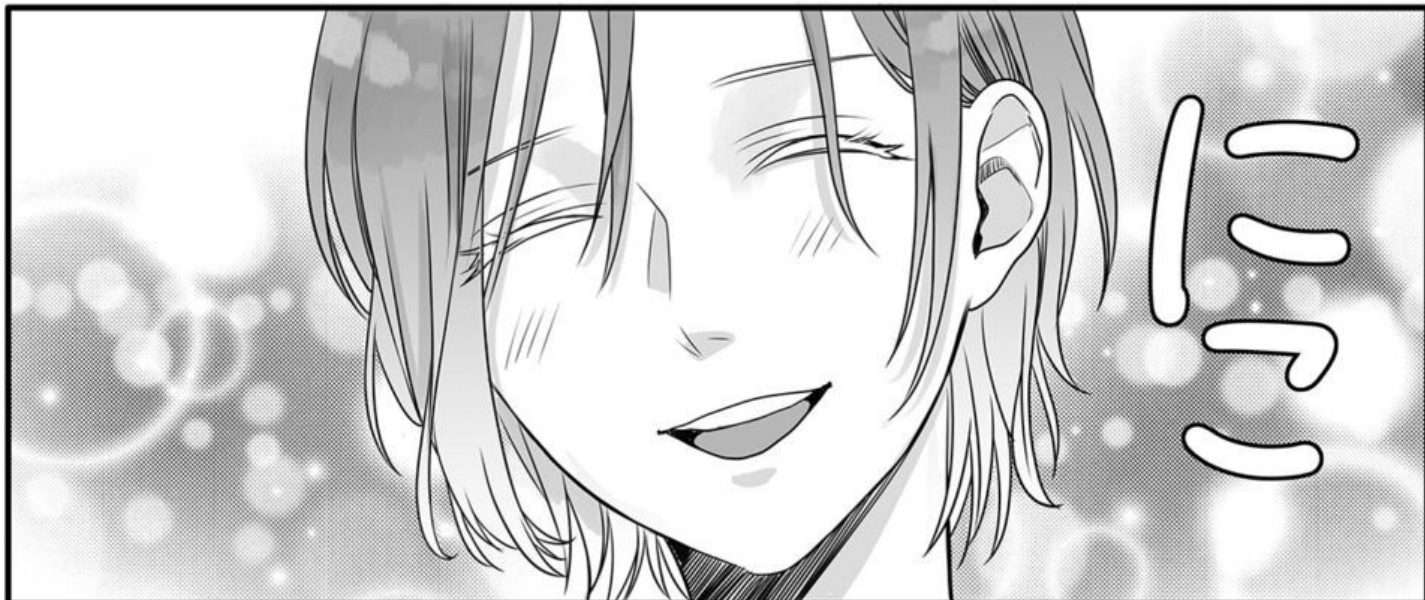


あ…
あぐびしてるー！

は

ふあ



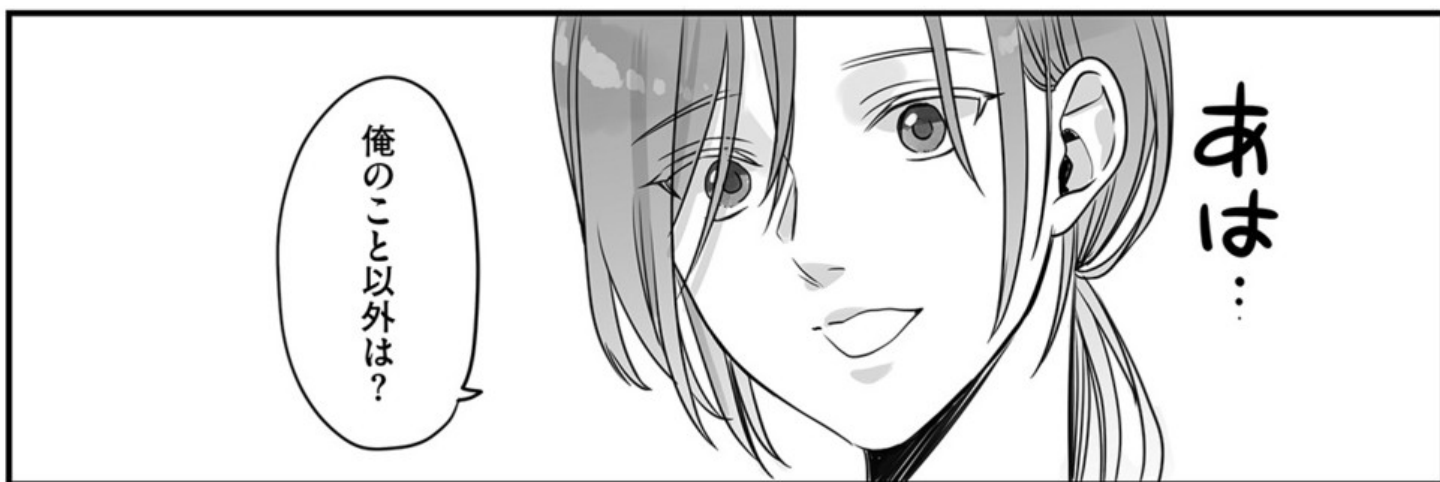


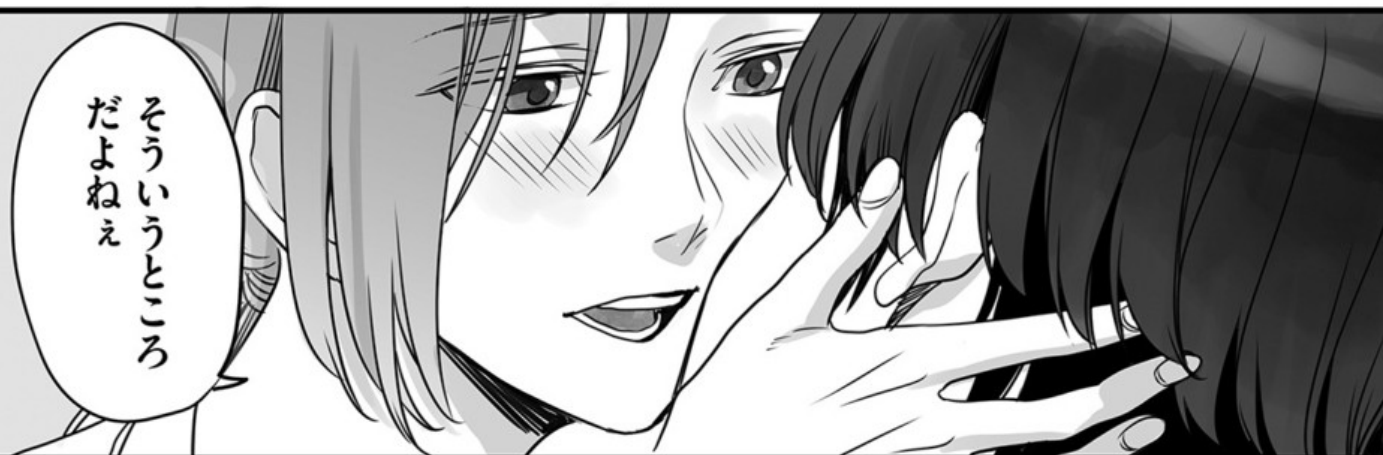
笑ってごまかしたけど...

。。。。
見てるのバレたかな...











新しく始めよう

ふう
疲れたねえ

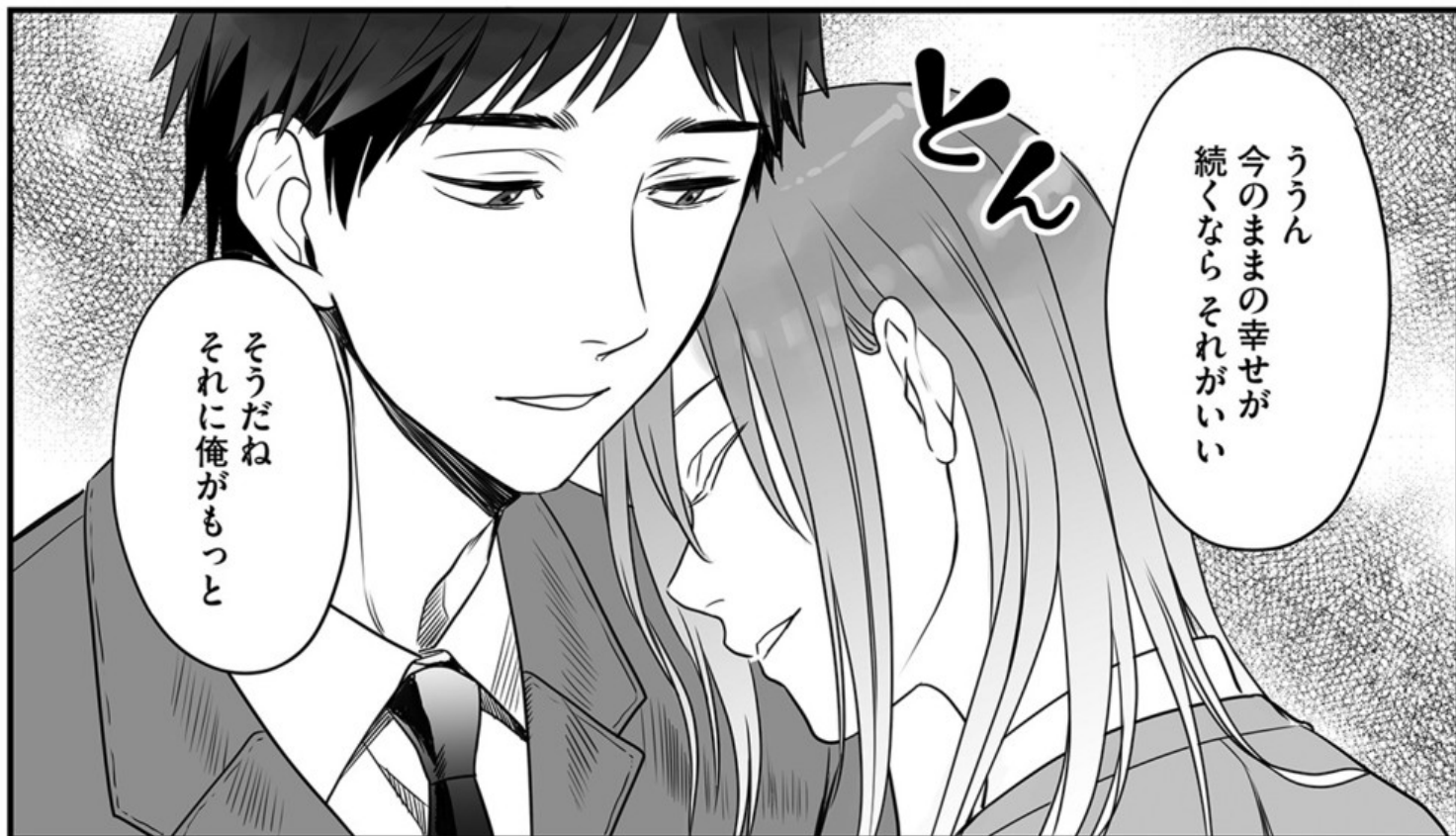
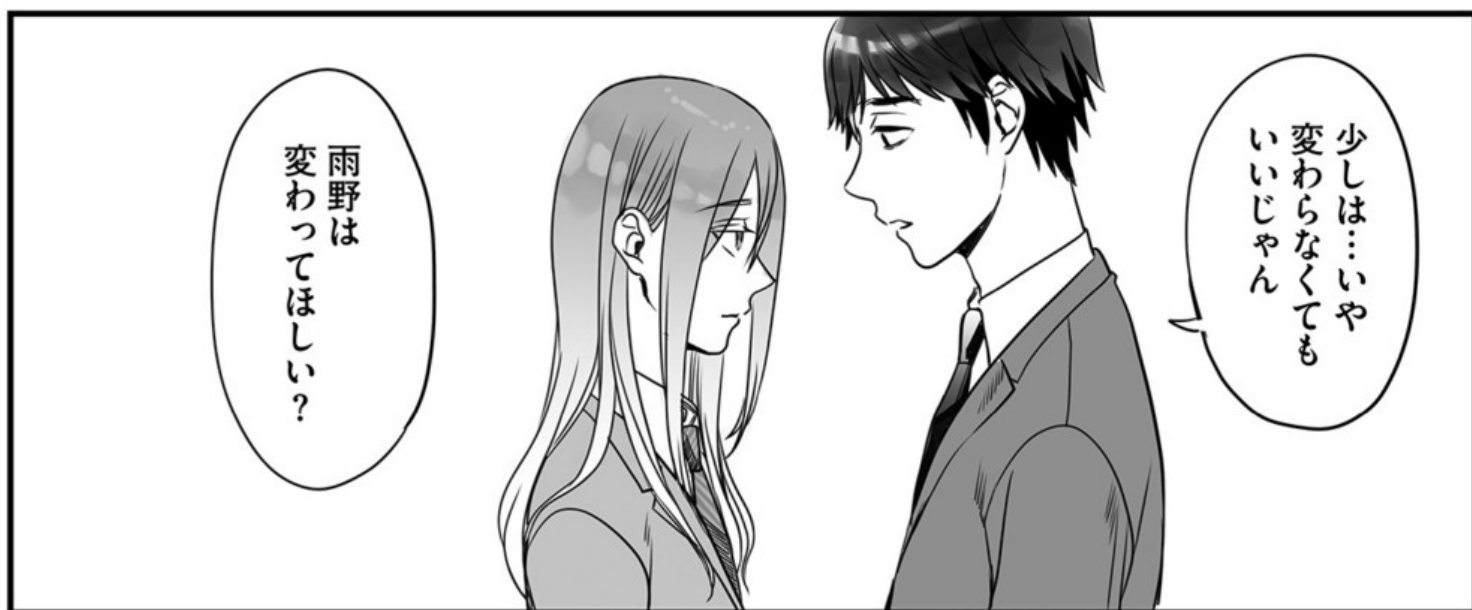
うん

でもこれで
お互いの家への
挨拶もすんだわけか

歓迎されたね
僕たちのこと

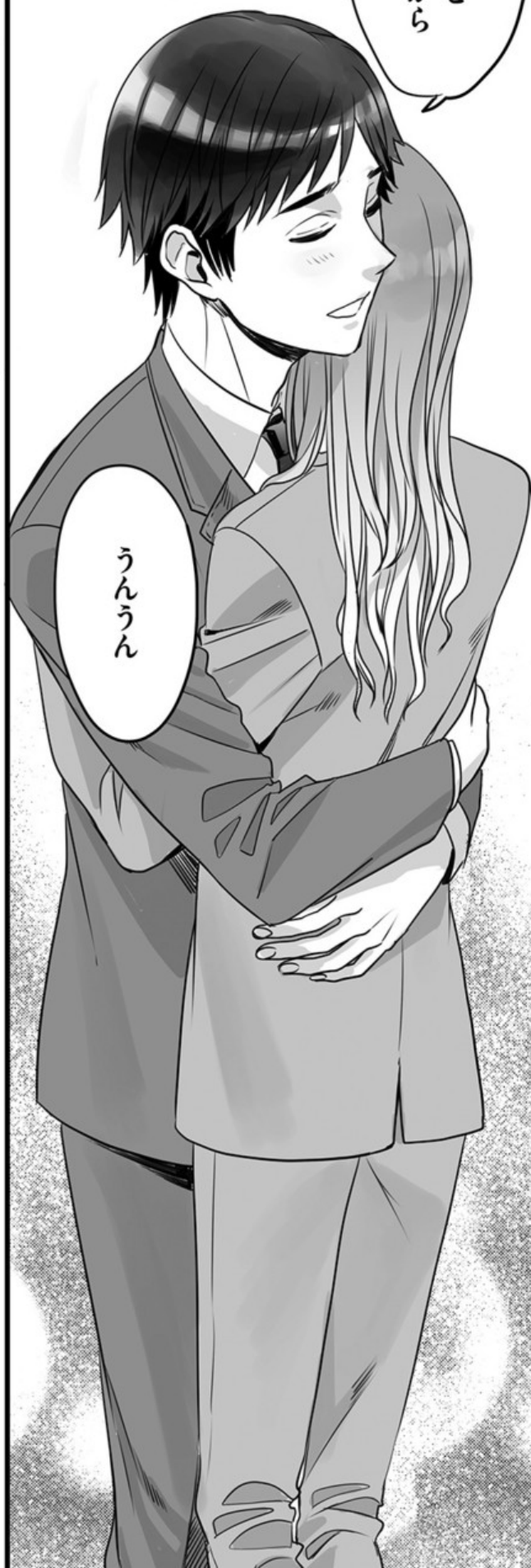
うん
ほんと良かった







末永くよろしく
お願いします



もっともっと
幸せにするから

うんうん

こちらこそ

Happy End

普通の友達

007 第一話	新・ワンダフルBoy's vol.41 2021年5月
043 第二話	新・ワンダフルBoy's vol.43 2021年7月
071 第三話	新・ワンダフルBoy's vol.45 2021年9月
103 第四話	新・ワンダフルBoy's vol.47 2021年11月
135 第五話	新・ワンダフルBoy's vol.49 2022年3月

光彩コミックス㉓

2022年7月10日 初版発行

著 者 宮下キツネ
編集人 阿部理絵
発行人 中沢克政
発行所 株式会社 一水社

〒162-0805 東京都新宿区矢来町113 神楽坂升本ビル3F

☎03-6280-8660(代) <http://www.issuisya.co.jp/>

製版所 株式会社オノ・エワン
印刷所 三共グラフィック株式会社
装 丁 齋藤 渉 (chipco design)

©Kitsune Miyashita2022 Printed in Japan

- ・この物語はフィクションであり、実在の人物、団体、思想などとは一切関係ありません。
- ・万一、乱丁・落丁本がありましたら、送料小社負担にてお取り替えいたします。
- ・本書の一部または全部を無断で複写・複製・電子データ化することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。
- ・この作品を読んだ感想を一水社までお寄せ下さい。宮下先生へのファンレターもお待ちしております。





少し早く起きて
あまの
雨野の顔を
眺めるのは
至福の時間だ

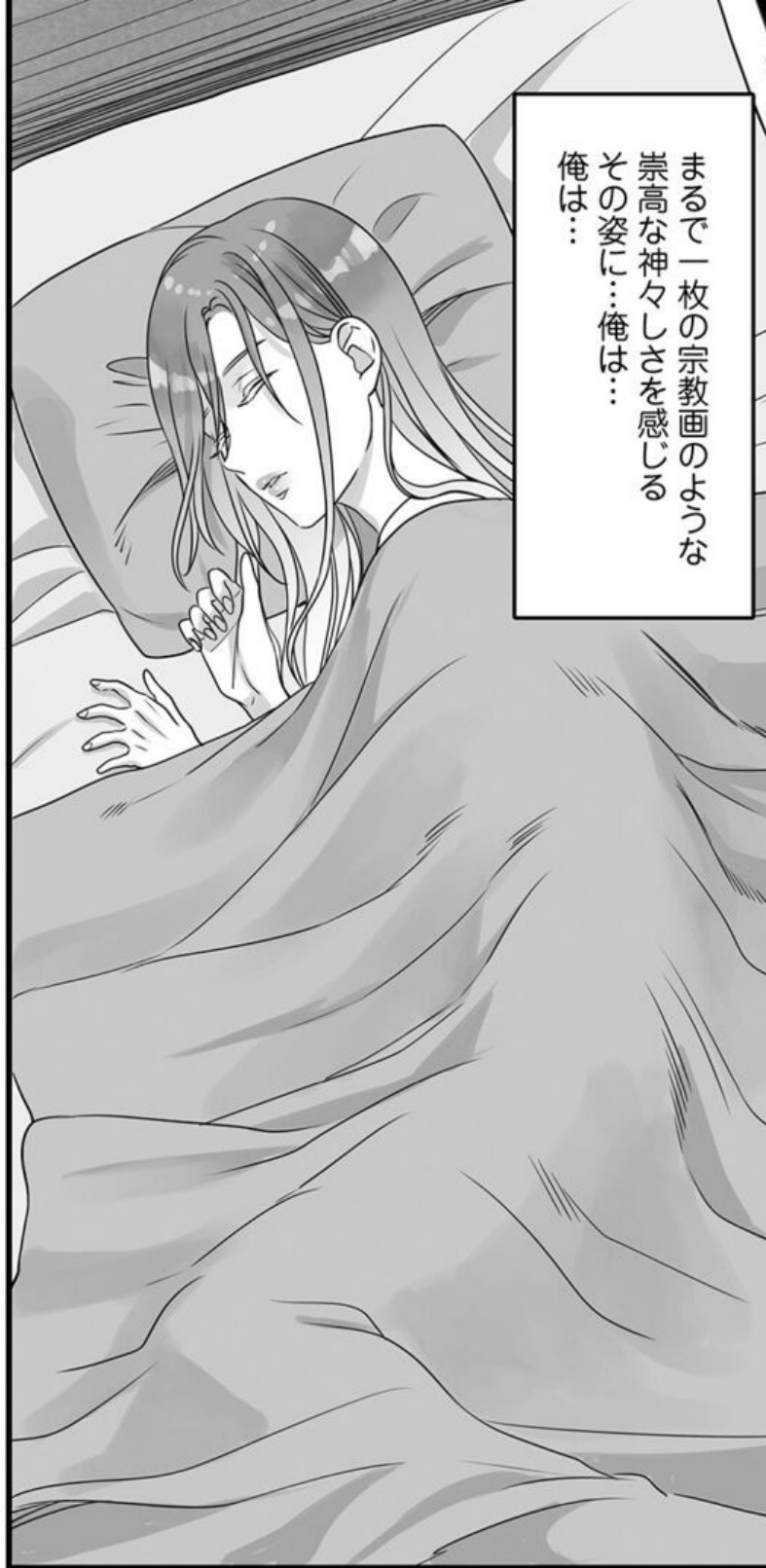


かわいい
美しい



俺はいつも
拝まずには
いられないのだ

え…何してんの？



まるで一枚の宗教画のような
崇高な神々しさを感じる
その姿に…俺は…
俺は…



え？

あ



あつ

俺生きてるけど
どういふこと…

いやそういう意味じゃ
なくてちよつと
拝みたくなっちゃったって
いうか…



おはよう

ああ
眩しいなあ

今日も
大好きだ

お腹減ったねえ
拌まれたところで
人間なので
お腹は減ります

何か作るよ
コーヒー
飲むよね？

うん
砂糖とミルク
入れてね

うん

うん

END

